

シャローム(平安がありますように)

シエラビスタ アリゾナ州 アメリカ合衆国

1964年1月12日

1 おはようございます、皆さん。どうぞおかけください。砂漠の後ろ側に戻るのはいいですね。私は前回ここに来た時、この場所を「砂漠の後ろ側」と名付けたと思います。それは普通我々が主を見出す場所なので、モーゼが羊の群れを連れていた時一度見出したのも砂漠の後ろ側でした。

ここでこの人、私が彼を選んだのはしばらく前に後ろ側のミラーに居たので拾いました。私は先日、彼が病院に居て、彼のために祈っていました、今朝ここで彼は座っています。素晴らしいですね。とてもうれしいです。彼は地を流していましたそして今朝彼に会えているのはとてもうれしいです。前回我々と一緒にいたこの兄弟がガンになったと聞いたのはとても残念です、そしてその病院に居ると聞きました。我々にはこのための道が一つあるのを知っています、そしてそれは死への道なのです。我々は皆その道を歩かざるを得ません、最も義人であろうが最も聖い人でも、我々はほかの人の墓の上に置かれるのです。しかし、イエス様は言われました、「私を信じる者は、死なない」しかし、「死」はあるのです我々はそれを死とは呼ばないのです。

イエス様がラザロについて話したとき、彼は「彼は寝ている」と言われました。

そして彼は言いました、「さて、もし彼が寝ているならばそれは素晴らしい」

そしてイエス様は彼らに言わなければなりませんでした、彼らの知っている言語で、「彼は死んだ」彼は言ったのです。「そしてあなたのために、私がそこに居なかったことがうれしいが、行って彼を起こす」と

2 そしてそれが彼が素晴らしい事を聖句の中でいわれたのです、「誰でも私の声を聴いて、私を信じる者は永遠の命を持つ、さばきにあわなが、死が命になっていく。私は復活させる。私を信じる者はたとえ死んでも、生きているのである。誰でも、生きて私を信じる者は死なない」決して死なない!だからクリスチャンには本当の死は無いのです。

死の意味は、「永遠の別れ」だからです。

そして今、私たちが死ぬと言うのは、今我々が持っている肉体のように、お互いに分かれるのです。しかしそれは本当に、この体だけがお互いを認識するものだからです、我々は五感に向過ぎつけられているから、視覚、味覚、感覚、臭覚、聴覚。そして我々が見て、お互いに感じるならば、何故か、我々がここに居ると言う証明になるのです。もしあなたが盲目で、見る事が出来ないならば、あなたはお互いに感じ、お互いに聞く事が出来ます。そして地上での感覚でお互いに宣言するのです。

3 しかし本当に、正直に言って、我々はお互いにあったことはありません。ご存じでしたか?我々はあったことはありません。あなた方が何かある体の中でここでなんでもその内側になりすましをしているのを聞いていますね。だからそして、我々がお互いに話すとき、我々は本当に体に話しているわけではないのです。それは内側にある霊なのです、そしてそれゆえ、お互いが話し合う時、すぐに我々がクリスチャンか否かを分るのです、というのはその霊の内での交わりがあるからです。というのは、それがお互いにクリスチャンかそうでないかによってバイブル一とするからです。だから、我々はお互いに会った事は無いのです。

4 イエス様。「どの時にも神様を見たことがないのですが、唯一父から生まれたもののみが彼を宣言するのです。分かりますね。要するに、神が認識されるという事です。神の人はその体の中で認識されるのです、主イエスキリストは彼は神の似たものとして表現されていたのです。それか、彼はある画像を通して神が彼自身を表現したのです。神は彼自身を我々に表現したのです。彼は神でした。第3の人も第2の人でもなく、彼自身が神だったのです。彼自身が神で、我々は彼を感じる事が出来る様に認識されるのです。

第1テモテ3章16節「確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」素晴らしいですか?神様! そして我々は火の柱を通して神が動かされ足りない限り神を理解する事は出来ませんでした。しかし我々は彼が私達の一人になられた時、彼を理解したので、彼は人になったのです。そして彼は我々に話した事が出来たのです、そして我々は彼を感じられたのです、彼を扱い、触れたりすべてでいたのです。そして聖句が単純にそう言っています。「我々は神が手にされた」我々の手によって、我々の手で神に触れたのです。

5 人の中に神がおられるのです。そして彼は今日彼自身の教会の中で認識されるのです。

再生され生まれ変わったクリスチャンの中で、神は彼自身を認識するのです、彼が神で居続けるので

す。そしてそれ以外の世の中では、あなたや私の中で彼等が神を見ることによって知るのです。彼等が神を知るのそれはそれ以外の方法はないのです、新約聖書の使徒書簡を書いているときに、我々すべての人々を読んでいるのです。そしてその命が我々の内側で反映するのです。人は彼のする業によって認識されます。だから我々の技も良いものであるべきなのです、常に。と言うのは我々は我々の主イエスキリストを表しているからです。

何と素晴らしい事でしょう、私のような年長の者にとって、人生が終りかけていると考えていて過去が過ぎ去っていくときに我々は永遠の将来に直面しているのです。そしてもしこの人生だけだ私の希望であったとしたら、今朝私は最もみじめな人間になりえます。

しかし、この人生はこれから来るべき人生の影に過ぎないと知っているのです。それは繁栄になるのですと言うのは神が作られたもの以外完璧になることは無いからです。神は滅びるようなものは何もおつくりになりません、わかりますね。神は永遠の方なのです。そしてそれゆえ、我々が今生きている命は、これから我々が期待しているものの繁栄に過ぎないのです。本物は死なないのです、その体は滅びません、命は取り去られることは無いのです。わかりますね。そしてそれゆえその聖句は正しいのです、それが我々が永遠の命を持っていると言うとき、我々は永遠の命を持っているのです。我々は決して死にません、わかりますね、と言うのは、あなた方が、新しく生まれ変わるとき、あなたは神の一部になるのです。わかりますね、あなたは永遠のために永久になりそれは敗れる事はありません。あなたは神の一部なのです何故ならばあなたは神の子だからです。

6 さて、もしかしたら別の名前を使うかもしれませんがそしてほかの名前だと言う事になります。私の母の名前を使うかもしれませんが、ハーベイ、それは一番近い物となります。世では、私の母はハーベイで、私はそのハーベイと言う名前を使う可能性がありました。しかし血が私がブラナムだと言う事を証明するのです、と言うのはわたしは父の一部だからです。そして私にその血があるならば、父の一部となるのです。わかりますね。それはその通りです。そして私が神の御霊のうちに生まれた時、私は神の一部なのです、それだけの事です。私は彼とともに認識されたのですね。彼はわたしの父だからです。その時、私の人生は彼を反映すべきなのです、私は彼がいた中でそのイメージで私の父を反映するようになるのです。彼らは父のすごく似ていると言いますそしてそれゆえ彼の見た目が私に似たものとなりうるのです。そしてあなたの父はあなたに反映していますそして両親もです。そしてそれが、神が私たちが神に似せて作られたものとしてここで証明されたとき我あれが生まれ変わったときに反映されるものなのです。

7 さて、私がテキストを話すことについて話し始めてはいません。

私は常に家での集まりを感謝していました、コテージでの祈りの集まりつまりこのような、あるいはそれ以上に、人々は素晴らしい会合で最善の集まるの時にこのような小さな集まりの中で普通、話すことが出来るのです。神と最も近く感じた場所は、我々が礼拝しているときに少しの片手人数くらいの信者の集まりの中ででした。

8 さて、今朝、我々はこのに30あるいは40人が座っていると思います、それは子供達を入れてです。私は数字を数えるのはあまり得意ではないので、はっきりはわかりませんが、でも小さなグループに見えますと言うのはこのほかの部屋がありますが、それらの部屋では人々がいるのは見なかったのです。今、しかし我々がこのように集まるとき、私は、大きな大きな会衆の中に居る時には、その近さを感じられないものが感じられるのです。我々は我々自身を表現することが出来ます。だから、今朝思うにここに来て、今朝会衆と素敵な牧師に話すのです。だからこの多くの私の友人達、ストリッカーさんや皆さん暫く会っていなかったのに会えてうれしいのです。

9 そして今朝、来週の日曜日の午後フェニックスの講堂での会合で話す予定にしていた新年のメッセージを話します。何故ならば、ここでテープを作ろうと考えていました。さて、たぶん、聖霊が多くの信者の中でより良い考えを与えて下さるでしょう又、たぶん、フェニックスで信じているように、信じるものと未信者そして迷信と全てが一緒になっているのです。そして、もしその兄弟が、テープを出してくれれば、その方がよいでしょうと言うのは、ここでより良いテープがあるからです。まず音声をチェックしてくれと男の子たちに尋ねました。そして今朝ここに来る時、テリー兄弟が音声は良かったと言っていました。それは良い事です。そして今、この最も重要な時間に行く前に、始めましょう。

10 彼らが何人かは昼食のために居ると言っていたと信じています、ここから家に帰ったりするかあるいは何か一緒に。それはとても素敵です。本当に一緒にお会いできることを感謝します。

そして私の今朝のメッセージは生きる神の教会についてです、そしてこれが今朝ここに座っている理由だと信じています。そしてまた、最も重要な場所に行く前に、頭を垂れて祈りましょう。

11 天のお父様、我々は、あなたを父として呼べるこの特権を与えて頂けている事を本当に感謝しています。父と言うのは、偉大なる神として天と地を作られた方と言う事です。そして我々はこの特権を本当に幸せに思い、心から我々があなたの息子、娘となれる事を思っています。そしてそれゆえに、あなたが我々のうちにご自身をはっきりと表されるために、あなたが我々の父として、世の物から思いをか、動機や態度や目的や全て面で我々を変えて下さっている事、あなたを愛し、あなたを信じあなたの約束が真実だと知れる事を感謝します。

我々は今朝この場所「砂漠の裏側」と我々が呼ぶ場所で集まっていますあるいは、この小さな場グループにはいかにも何も、自然の小ささが表れる事がないからなのです。

しかし私は、モーゼ、あなたのしもべが砂漠の裏側に居たことを考えています、たぶん、彼と彼の羊たち、たぶんまた、彼の妻であるチツポラとその息子であるガルシヨムが一緒だったかもしれません。それは私は知りません。しかしそこには預言者を逃げるような弱虫から神に仕えるもの似買えたのです、それが砂漠の後ろ側と言う場所でした。それは人間の人生の中で初めて火の柱を表した場所で、小さな砂漠のやぶの中にあつたのにも得なかったのです。しかしそれはやぶの中を通して神の栄光を表していたのです、そして預言者モーゼとなったのです、彼の靴を脱ぎ、近くに行ったのです、神が選ばれて神の人々を解放するためにでした。

12 今日と同じかもしれません、主よ、砂漠の裏側で我々は飛び出します。そこで我々の靴を脱ぎ、帽子を取り全てをデスそして、キリストの十字架の元に置きます。そして言うのです、「主よここに降ります、私を送って下さい」と

ここに居るこの牧師を祝福してください、アイザックソン兄弟。我々はあなたが彼と彼の妻、そして彼の小さな子供達ストリッカー兄弟、彼の妻と子供達そしてすべてここを代表されることをここで今朝祝福して下さいように祈ります。

そして我々はこの場所に集まっています、いいえ、主よ、いくらかの偉大なる栄光ではなく、あるいは、リーダーとして知られるようになること、あるいは、何かの公的な栄光になることを。我々はただここにいる謙虚な信仰者たちがいるのです。我々はこのに居るのは我々があなた方を愛しお互いに愛しているからです。そして我々がお互いに会うために一緒に集まるのです、ある特定の場所で各々の信者が集まるために、より神があるように。イエス様は言われました、「もしあなたがそれを私の名前でするならば、私はその中に居る」だから、私はあなたがここに居ると知っているのです。

主よ我々に語って下さい。そしてもしこれらのここに私が書いた小さなメモと参照する聖句はその道に越えて今朝、我々が考えている思いを、そして主よ、我々はそれを取り去りそしてあなたが私たちにせよと言う事を言われただけすることにしたのです。主よ、今我々を祝福してください、イエスキリストの名前によってこれをお願いいたします。アーメン。

13 さて、聖句を読む中で、今は年をとったのですが、以前はとてもよく覚えることが出来たのです。

そしてその時に、若い時に、長いメッセージは受け取りませんでした、たぶん30分かそのくらいでした。一つの考えを話しそれだけを心に留めていました。しかし今は、テープで録音しているので、これらの長いメッセージや会合をしています。そしてこのテープ、青年たちが録音していてそれはある特定の時に始まります、たぶん今は、祈りが始まる時そしてそれは沢山の場所に実際世界中に行くようになるのです。だから我々は今朝新年のメッセージを話す心算です。3つクリスマスメッセージがありましたそしてこの場所砂漠の後ろ側にいる人たちであるあなた方がこれらのテープを得る事を知っています。そしてその教会での最後のメッセージであるいは次のメッセージの時そこには光がありました。そしてもしテープをまだ得ていないならば、間違いなくあなたが楽しむことになるかと信じています。主が私にその靈感を与えられそれをとても楽しみましたから。

14 さて、今日、我々は新年に向かっています、過去と同じようにに考えたくありませんしかし、将来を見たいのです。パウロは言いました「兄弟たちよ。わたしはすでに捕えたとはいっていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かつてからだを伸ばしつつ」そして表現されたように、車のバックミラーを通して見た様なものです。我々はバックミラーを見る時、何を超えてきたかを見ているのです。さて、我々は、バックミラーを通してメッセージを見ようとはしていません。主が既にされたことを見るには

あまりに長すぎるのです。そしてあなたは既に我々の主がされてきているすべての素晴らしい事に関係しているのです。私の人生で見たいくつかの最も力強い物でした、主はただ過去数か月だけを考えただけでも沢山されました。

しかし今、我々は何が起こっているかに感謝していますが、今我々を楽しみにしています。我々は今年1964年に向けて前を向いているのです。

15 そして今、もし読みたいならば、あるいは、私がいくつかの聖句を読みたいのですが、と言うのはこれは皆神の聖い言葉に基礎をおいているからです。

そして、このテープは1時間15分しか残っていません。そして御心により、皆さんが夕食をとれるように話してしまいます。今晚6時まで話す時間を貰っていることを感謝しています。それはとても素晴らしいです。

さて、聖書を開いてみましょう、2か所です、その書も近くに並んでいます。それは旧約聖書の中にあります。テキストをそこから拾いますあるいは読みます、2か所からです、イザヤの62章と詩篇の60篇です。さて、イザヤの62章から開いて初めに読んでいきましょう。そしてこの中で我々は我々の主である神の偉大な力を思い起こさせられます、どれほど彼は偉大であるかそしてどれほど力強い神であるかです。申し訳ない、それはイザヤ62章ではなく60しょうでした。イザヤ60章です。わかりました、さて、我々はこれを読んでいきましょう。イザヤ60章1と2です。

起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上へのぼったから。

見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあられる。

「闇はもろもろの民を覆う」このことによって勿論、これは、我々が生きている時代に関しての預言なのです。

16 さて、ここで詩篇を開いていきましょう。ここで私の書いた聖句は多少混乱していたかもしれませんが言うのは、急いで昨晚書いたからです。詩篇62章1～8節です。

わが魂はもだしてただ神をまつ。わが救は神から来る。

神こそわが岩、わが救、わが高きやぐらである。わたしはいたく動かされることはない。

あなたがたは、いつまで人に押し迫るのか。あなたがたは皆、傾いた石がきのように、揺り動くまがきのように人を倒そうとするのか。

彼らは人を尊い地位から落そうとのみはかり、偽りを喜び、その口では祝福し、心のうちではのろうのである。[セラ]

わが魂はもだしてただ神をまつ。わが望みは神から来るからである。

神こそわが岩、わが救、わが高きやぐらである。わたしは動かされることはない。

わが救とわが誉とは神にある。神はわが力の岩、わが避け所である。

民よ、いかなる時にも神に信頼せよ。そのみ前にあなたがたの心を注ぎ出せ。神はわれらの避け所である。[セラ]

17 この詩篇の中で聖句に気が付いているならば、そこでは引き続き、「神こそわが岩」と言っています。聖書の中で岩が何を表しているかを知っていますか？聖書の中での岩は、「神の啓示」を表しているのです。わかりますね。「神はわたしの啓示」彼は、、、わかりますね、御言葉の啓示こそが岩なのです。

だから、ペテロはある時、、、イエス様がした質問がありました、「さて人々は人の子を誰と言っているのか？」

そして彼らの一人は言っていました、「あなたは、、、ある人々は、モーゼであるかエリヤあるいはエレミヤあるいは、来るべき預言者の一人だと言っています」しかしそれが質問ではなかったのです。

「あなたはわたしを誰と言うのか？」

ペテロはこの有名な言葉を言いました、「あなたは生きる神の子、キリストです」

イエス様は、「ヨナの子、シモンペテロ、あなたは幸いである、これをあなたに示したのは肉や地ではなく、天におられる父である。この岩の上に、、、」わかりますね。

そしてダビデはここで言っています。「神はわが岩」神はわが岩、神が我あれにそれを示される時。それが岩になるのです。神こそわが岩なのです。

18 さて、今朝の私のテキストはおかしな言葉です:シャローム。シャロームはヘブライ語で、「平和」を意味します。そしてそれが今朝教会に言う事なのです。「シャローム」それは平和なのです。

フィンランド語では、Jumalan Rauha ,でそれは「神の平安」を意味します。Rauha ha「神様」
なのです。わかりますね、神の平安、シャローム。

私の新年のメッセージは1964年のためのイエスキリストのうちに選ばれている教会宛の物です。ただの教会のグループだけでなくその選ばれている民、その教会の女性つまり、キリストの花嫁の為、わかりますね、誰に向かって私が話しているかを。

我々はこの二つの課題に面しています、我々は二つの聖句を読みました、とても反発しているものでした。イザヤでは、「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。」そして直ぐそのあとの節で、

「見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあられる」とあります。そして我々が光と闇の中に居る時そして教会に「シャローム、平安」について示しているのです、それがなんであるかについて全てを見出してみましよう。我々は今年面しているのは、闇と光の両方なのです。我々は、、、最も闇の深い無秩序な時代の一つに入っているのです、そしてそれはまだ続いているのです、その中で最も祝福された光が輝いているのです。そしてそこには、、、

19 その違いはちょうど始まりに会ったのと同様です、地球上に闇があったときです。そして神の御霊が水の上来て、「光あれ」と言ったのでした。そして神が光と闇を分けられたのです。そして私たちは今、光が作られたかもしれませんが、世界の反対側に、闇から光を分けられた時に神が分けられたのです。そして我々は、、

そしてその時、教会のに、私がかれらに「シャローム」と言う理由は、それが神の平安だからです。それが今朝私が皆さんにもたらしたかったものです、新年のためにそして振り返るのではなくしかし我々はその新しい日の始まりを期待しているのです。我々の前に何か素晴らしいものが置かれているのです、その年には我々が今期待してきた喜びがあるのです、素晴らしい光が来ると言う事をです。そして今、我々は、地平線を超えて、死すものと死なないものとの間を壊しているのです。我々は天国と地獄の間を壊しているのです、地上につく病気や問題のある世界に死ぬことのない命、死ぬことのないからだ死ぬことのない地球は過ぎることが無く輝いているのです。

それが「シャローム」で教会に入ってくるのです。さて、それは信仰者のために入ってくる光の時なのですが、もろもろの民を覆っていたのです。

20 先日妻と私は今生きている時代について話していたのです。さて、この場所を選んだ理由は、穏やかになってあなた方には話せると感じたからです。わかりますよね。考える事の出来る最悪の皮相的な時代だと考えられるときですね。

私は何時も最善を尽くして宗教的な方法の人と合意しないようにしていました、もし私が彼の手を取ることが出来ないならば、どれほどその物事が鋭かろうが、彼の手を取っていったのです。「これは、我々の中により良い悟りの光の中に居る」そしてそれでもその人を愛するのです(口で言うだけではなく、心からです)そして、全ての者が無ければ人々は話しかけようとしています。何故ならば、我々はそれをしなければなりません、その人を愛さなければならぬのです、わかりますね。そして色々な種類の人々の中に行き、また異なるカルトやクランそして宗教などなど、そして聖書を置こうとして言うのです、「あなたの信条からではなく、あるいは、倫理の本からでもなく聖書から話し合しましょう」とたぶん、人々は時々本当に鋭くなりますが、もし私がその人を好きにならないように思ったら、キリストの霊が私から離れて行ったのです。もし私がその人を好きでないと感じる事が出来るとしたら何かが間違っているのです。

21 キリストの霊がかれらが彼を十字架にかけた時に、彼自身の人々爪のように彼自身が彼の肉体を取って作られたように正にそのように作られたのです。そしてまだ、愛で心がいっぱい、彼は「父よ彼らを許してください、彼らは彼ら他していることを知らないのです」そうですね。

そして、私はその場所に来ました。私はその人々がかれらが知っている事を知らないと信じています。それはその時人がいる場所で悲壮な物事があるような邪悪な物となるのです。それはまるで闇の影があるようなのです、それが人々の上にあり、彼らに圧力をかけているのです。

22 例えばこのようにこれが一つなのです。国を超えて又国中で話しているのです、そして主である神は指定された彼の言葉によってそれは間違いないのです、そして何もそれが神が言われたことが起こらない限り、言葉によって物が起こったり、彼が何をしていたかに関して。そして人々は座ってそれを見て居るのです、そして引き続き同じ状況で起こっているのです。

分かりますね、関係なく、しかし我々の姉妹たちのように、多くの時、私たちは彼らに切るものや神を切ることなどの小さなことを話しています。そして男性たち、彼らは引き続き彼らの身上やら信条に仕え続けるでしょう。彼らは良い人々なのです。素敵な人達です。しかし、彼らは何を得ているのかを理解できないようなのです。何故？わたしは来年戻ってきますそして、より良い状態よりも悪くなるでしょう。それは続くのです。ここにはある姉妹が居て、素敵な長い髪があったのに切ってしまいました。ある人は、見た目は正しい様に見えますが、犬が吐いたものに戻るように、、、、わかりますね、そこにまっすぐ行ってしまうのです。人々にはそのような何か世の物に打たれるものがあるようなのです、彼らにはそれを、何かが間違っているものがあることが理解できないのです。

23 ちょうど、今日、人々の中で気が付くように、人には天才的なものを見出すことは無いのです。女性にも見出せないでしょう。さて、私が話しているのは、、、、だからそれが理由で、「シャローム」となるわけです。

しかし我々の世代の女性について気が付くと思うのです、彼らは以前に会ったような女性的なものを持っていないように見えます。彼らはそうなりたいけれども何かがかれらをそうさせないのです。そこには重い状態があるように見えます。それ、女性にあれこれをすべきでないという、そしてその女性を見ると彼女はそれを信じたのですが、何か彼女を反対に押ししているようなのです。わかりますか？かわいそうに、彼女に哀れみを感じます。彼女は、ハリウッドのクモの巣のようなものにつかまっているのですそして、テレビやラジオや新聞や通りやお店の窓などの広告に毒されているのですまた、彼女の合うほかの女性たちもそうだからです。我々の若い人も、年配者も、中年の人たちもそこから引き離せないものがあるのです。

24 男性たちの中にも何かがあるようです。男性は、以前あったような筋肉質的なものが無くなっているように見えます。女性も以前のような女性的な物が無くなって来ています。今日男性たちを見る時、以前のような頑丈なタイプが居なくなっているように見えます。それは色々な種類の、、、、彼らは紫色のスウェードの靴を履いて女性のように行動したいのです。さてそれは事実なのです。そのように見えます、それは性的な倒錯のようなものです。女性は彼女の髪を切って男性のようになりたがりです。そしてある男性は女性のように行動したいのです、わかりますね。そしてあなたがかれらに話すと、彼らは素敵な人たちで社交的なんです。これは何でそうなったのでしょうか？それは人々の上に闇が覆っているからです、それが彼らにそのようにさせているものなのです。

25 ちょうどイエス様が地上に来られた時のように、イザヤがそれを予言したように、そしてこういっています、「目はあるが見えず、耳はあるが聞こえない」そしてそれが理由で、イエス様は彼らのための許しを求めて祈りましたと言うのは、それが聖句が成就しなければならない方法だったからです。

そしてそれが我々に再び戻ってきているのです。聖書は我々が生きているこの時代について語っています、そしてこれらの事が起こると語っているのです。「闇がもろもろの民を覆う」。そして我々はそれを見ています、それが何か単純に、人々は欲しいのですが彼らには出来ないのです。

ニコデモが主の前で一度話しています、「ラビ、我々はあなたが神から来られた教師であることを知っています、神と一緒に居なければ誰にもできないことをなさっています」しかしそれは闇であり、ユダヤ人の上にある、盲目にされていたのですと言うのは、救世主は異邦人の花嫁を迎えに来るためには。。彼らは彼を拒絶しなければならなかったのです。

26 そしてそれが教会や物事に今日、闇に覆われているのですそのことによって光が輝いてくることを見るのが出来ないのです。すごく重たい物があるように感じます。我々は有名な伝道師たちを見ると、彼らは引き続きリバイバルのために叫んでいますそしてそれと完全に敵対して動いているのです、悟りが無いから

です。

そして私は「さて我々はこれが見えている、神に栄光を彼らはその中に居ない」と言う事を言おうと言う動機で言っているわけではないのです。私は、人々が「さて、ブラナム兄弟あなただけが世界で唯一真理を持っている」と考えさせるために行っているわけでもありません。いいえそんなことは無いです、それは間違っていますね。

私は唯一言っているのは、その時代の光の中に我々は歩いていて、この光を探している人々の利益になるようにです。本当に、イエス様は言われました、「わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。」誰もそれを見る事が出来ないのです。それはあらかじめ定められた種で、そして唯一それがそれを受け入れる事になるのです。しかし我あれがその場所に再び来たのです。聖書は言っています「あなた方は世の光である」と。

27 その預言者は言っています。「闇がもろもろの民を覆う」この時代に世の人々の上にです。そしてそれこそが我々が得たものなのです、闇がもろもろの民を覆っているのです。

神は、彼の素晴らしい哀れみのうちに、私は何時も福音を伝えてそのために立ち上がろうとしています、彼はいつも天国から彼の出来事を見せています:彼の大きな主要な出来事が、地上に起こる前に天国で起きるのです。彼は彼自身を反映しているのです。つまりは、彼の御仕事が始まる前に救い主が来たのです、彼は賢い人々の場所にその場所へ人々を導くときに天国から星が出て来るのです。あなたは私の最後のメッセージの中で神が賢い人々をどのように扱われるかを聞きました、彼はある夢によって彼らを、そして彼はヨセフに夢によって彼自身の息子の安全について話したのです。と言うのは彼が夢を見た時、そこには...

28 ある夢は副次的なものです、ある意味外れていることがありますと言うのは人々は正しくない夢を見る事があるからです。しかし、その時代には預言者は一人もいませんでした、預言者がいなかったのです、それゆえ神はお持ちのものを使わなければならなかったのです。そして彼に聖別されているならば、我々のすべての能力そして全て我々がすることをを使うことが出来る事を教えてくれています。しかし最初に彼に聖別されていなければならないのです。あなたの思いは本当にあなたの夢を反映するのです、何故ならそれはあなたの潜在意識が理由なのです。もしあなたは夢を見るのです、普通あなたがわかるように、あなたは何かそのことについて考えているのです。そしてあなたの思いを神の上に置きましょう、そしてそれからそれは彼のために反映することになるのです。そしてあなたが何であれ、彼を反映させましょう。

29 さて、天では、ライフマガジンでの光の写真を見ているのに気が付きましたか、兄弟がここに住んでいてこの家の彼の壁に三角の光がありますね。

私は思いの中に思っていたことが起こっていたのです。もし誰かラムサ聖書翻訳を持っていますよね、もしあなたが三角の光がヘイロー(光輪)の様に三位一体の光によってカバーされていることに気が付くでしょう。そして、ドクターラムサは私の個人的な友人で聖書を訳しました、それは古いヘブライ語の神の象徴が本物の三位一体の方法で会って、彼は3人の神ではなかったのですが、同じ神の3つの表れなのです。父、御子、そして聖霊。光は三角の形の中に完璧な縁のものになり神は3つの仕事を意味しているのです、父、御子そして聖霊の扱い全てが同じ神なのです。

30 しかしその朝二人の男性たちが私と一緒に居て二人の人たちが、フレッド兄弟の場所、ツーソン、フラッグスタッフの上に大きな奇跡的な光を表している前に7つの封印が表される前の事に気が付いていましたね。毎月毎月、時が起こっていた時に。丁度フレッドソスマン兄弟とジーンノーマン兄弟はここに今朝座っていて、そこには大きくなりそしてこれらの事が起こることは知らないのです。そして彼は私を送り返され、その時これら7つの封印のために手を持っていたのです、その7つの聖書全体の奥義を持っていて、これらの7つの封印の中で封印されていたのです。そしてこれらの御使いたちが道に沿って降りてきて、その教会時代各々の御使いたちが、その特定の部分を開いたのです。しかし7つ目の時代、7人目の御使い(メッセンジャー)は全部これらの奥義は終わるはずなのです。7人目の地上の御使いたち、、わかりますね、この御使いはこの地上で彼を話しているのです。

この御使いの意味は「メッセンジャー」と言う事です。そしてそのれから、そのあと、彼はほかの御使いが下りて来るのを見るのです、地上の天使はここでメッセンジャーと与えられていたのですが、他の力強い御使いが天から彼の上に虹をかけたのです、そして彼の愛はちと海に置かれ、彼自身は永遠に生きるのです、「もう時は無くなる」しかし彼がこれらの7つの封印を明らかにするためにそれを壊すために、彼は奇跡的にそれを見せ、彼は天で初めに見せたのでした。

彼らはその日南部アメリカとメキシコの写真を撮りました。それはライフマガジンにかかっていた、いまだに彼らにはミステリーなのです。しかし、彼は彼が地上に前に天の中で「宣言をします。彼はいつもそうするのです。彼は天国に初めに彼の象徴を見せるのです。

31 12宮でさえ、私12宮の事を教えに戻る予定はありませんが、天国がそれを表明していることを見せるのです。我々が見つけたのは、12宮(天体)で、星座の並びで、神は聖書全体でその12宮の星座の並びについて語っているのです。我々は彼がどのように始めたかを見出したのです、黄道帯つまりは星座の正に始まりは処女そして最後は獅子ザ、ライオンでイエス様が最初に処女によって来て、2回目はユダ族の獅子としてくることを表しているのです。彼は初めにそのことを十字架を取って終わられたのです、蟹の時代の前で、我々が生きている今がそうなのです。「すべての天が彼を表明した」と聖書は語っています。

32 さて、数か月前にタバナクルで7つの教会時代に関して集会をシリーズで説教しました。たぶん、ここに居る皆さんが聞いたと思います。そして、私が7つの教会時代に関して黒板に書いた後に、光がどのように入ってきて、出て行ったか。そして多分個々のどこかにあなたが居たのですが、それは私たちの中にいらしてのですね。そしておかしなことですが、終わりの時代に、最後の教会時代が書かれたとき、この大きな火の柱(それが我々の中に)が何百人者人々の間に来られたのです、そしてそれ自身が、タバナクルの後ろの壁を取ったのです。そしてそこで、この何百もの人々の前で、教会時代について書いていたのです、暗くなり、光が来ました、ちょうど黒板に書いたのと同じようにその通りにでした。なんと奇跡的なのでしょうか!

33 さて、先日、我々は教会史のイベントの中で話をしました。聖書の中では、月は教会を表しており、太陽はキリストを表しています。我々がそれを黙示録で見つけられます。12章で、女性は「教会」でした。彼女(教会)は月とともに彼女の足元で見つけられ、その態様は彼女の頭の上であり、12の星が彼女の冠にありました。古代のオーソドックスのユダヤ法では彼女の足にあり、彼女は太陽のに狩りが十字架のようにして入っていくのです。12の星は、我々にメッセージをもたらした、12人に使徒たちで、聖霊の元に居ました。さて、我々は月が天にあり太陽の光を反映させているのを知っています、太陽が見えない時にです。それがその周りに居ると光を与えてくれるのです。しかしそれは、どれほど反映していても、完全な光ではないのです、何故ならそれは反射しているからです。そして太陽の輝きは月の反対側に輝くのです、月は太陽が無い場所で輝くのです。しかし太陽が来ると、月も必要がなくなるのです。

今日の教会は神の子がいない状態の光を反射させています。その教会は光を反射させていますなぜならば、彼は言われました。「しばらくの間、世は私を見なくなる。しかし、あなた方は私を見るであろう、何故なら私はあなた方とともにいる、貴方方の中にさえる、終わりの日まで。私がした技、、、」彼が表された光。そして神の言葉を通しての光以外に光は無いのです。

34 その太陽は神の言葉です。初めに、神は言われました。「光あれ」として間の御言葉が表されたとき、神の御言葉が表れた時、そこには光があったのです。初めに、神は語られたのでした。もしそれが現れなければ? そうしたら今でも光は無いはずなのです。しかしそれが語られたときには、その者は表され、示されたのです。(彼の御言葉は指定されていたrのです)光が存在になることでした。

そしてそれが唯一物事がなされるべき方法です、神の御言葉が指定されるときに、神の書かれた言葉がしていされ、そしてそれが光を見せるのです。それは、ある部分に光がともされ、あるいは各時代に一定の光が付けられていたのです。我々は教会時代にそれを見出しています、旧約聖書の教会時代の中でも見えるのです。その旅の特定の表れが各時代ににそうなっているのです、著上に預言者が来ていたからです。そしてその御言葉が預言者に来て、彼がみ言葉を貸すようにできたのです。そしてその御言葉が認識され、神ご自身が反射されていたのです。そして時代があり、光があったのです。そしてそのような形で今日も光が来ているのです。

35 さて、私はいかなる宗派の人々に敵対するものは何もありません。しかしその体制に敵対する事を考える事が出来るだけなのです、何故ならその体制は間違っているからです。そして初めてその体制が出来た時、つまりはローマの体制、あるいはローマカトリック教会でした。それが初めに組織化された組織でしたローマカトリック教会、ニカエアローマです。キリストの死から325年後にローマ教会が組織化され、人々がなんでもそれと反対するものが混ぜ合わされて一緒にさせられたのです。そこで彼らがおかしな協議を作り、御言葉から離れた体制を始めたのです。そしてその時から今まで、その教会は、正に闇を表しているのです、我々がと売っている時なのです、輪rうえあれが「暗黒時代」と呼ぶときが約1000年間続きました。それは聖書学者や歴史家等皆が知っている「暗黒時代」はすべての面でローマ教会がコントロールしていた時代だったのです。

そしてこのローマ教会こそが、「淫婦の母」なのです。黙示録18章の中で聖書が語っています、彼女は淫婦と地の憎むべきもの共の母なのです。さて、これは女性の、不倫理的で汚い生き方です。彼らは両方とも同じものです。つまり、もし淫婦、それは女性でなければなりません。だから、それは単数ではなく複数なのです。彼女は「彼女」単数形「淫婦」なのです。そして教会は「淫婦たち」ローマ淫婦の娘たちと呼ばれたのです。彼女は、そのすべての母なのです、組織の母と言う事です。

36 そしてそれはおかしなことではありません、それは今日、我々がこれらの事を通るとき、メッセージが組織に敵対していると言う物が地上を超える時(それは右から左に広がっています)1933年以来、この時代において靖れが私に終わりの時に見せるべく幻を与えてくれ話してきています、私が7つの事を語って、5つの事は既に起こりました、完全に例えば、ドイツと至りほと全ての戦争。そして、国の事(数人が私にこれらの事を話してくれました)しかしそれらは神がそれらが起こると言われたのとまったく同じ形で起こっています。ムツソリーニがエチオピアに行き、エチオピアが彼に負けそして彼が彼らの人々によって分けられると言うなんていう恥でしょう、彼と一緒に住んでいた売春婦とともに頭を下にして殺されたのです。アメリカがドイツと戦争に入ったのは、そこでそうなると言われたひどい場所でひどく打たれていました、そこはジークフリートラインと呼ばれた場所だと信じています。そしてある人はマギノットとと及ばれていました、それはフランスだったと思います。そうですか?そしてジークフリートラインはドイツです。そして主は私にそれが建てられる11年前に見せてくれていました。そしてアメリカ人たちが勝つと言う事を認めませんでした。彼らは殆ど軍全体が沈んだのでした。彼らがそこに行った時、ドイツ人たちは彼らの位置に銃を持って訓練されていて、そこにはいらせてくれました。そして殆どそこに沈んだのです。それをそのラインを11年前に見ていました。基礎はそこにありました。ジークグリードライン。そしてすべてこれらの他の事、機械や自動車そしてすべてが彼が言われたのと同じように起こりました、女性がこの国を支配するまで、たぶんその教会。。。そして終わりが来るのです。

37 さて、我々はこれの中にそれを見出したのです、すべてこれらの事つまり私が組織に大きく敵対しているとか、ローマの教皇が初めてローマを離れてエルサレムに戻るのをおかしくないですか?エルサレムが世界で最も古い教会として知られているのです。

メルキセデクがアブラハムに王たちから逃れる時に会った時、彼はエルサレムの王でした、祭司でそれこそがキリストで神だったので、メルキセデクになれたのはキリスト以外にはありえないのです、神ご自身、つまりは彼には父はいませんでしたし、母もいませんでした、わかりますね。イエスは父と母が居ましたね。さてこの人には父も母もいなかったのです、人生の始まりも終わりの日も無かったので。そして彼が誰であったとしても彼は今も生きているのです。そして彼はその時代のされむの王だったので、その意味は「平和の王、シャローム」と訳されています。エルサレムの王がアブラハムに会い、彼にワインとパンを一コミュニケーションを渡したのです。一戦いの後でした。とても美しいその種別がヘブル所お7章にあります。さて、彼は戦いが終わった後、彼にパンとワインを渡しました。

それが新しい王国に入った後、始めるすることになるのです。我々は彼と父の王国で、パンとワインを食べる事になります。「父の王国にそのひあなた方と共に新しく食べるようになるまで、私はブドウの飲み物を飲んだり、パンを食べたりしない。」

38 さて、我々がシャローム王がその町から出たのを見出した時、そしてそれから信条を得て、その後。そしてそれは絶えることなく信条として作られましたがそれこそが古い教会を意味していたのです。そして我々は新約聖書の中で教えられていました。これを得るのを失敗しないでください、我々は地上のこの町エルサレムのものではありませんが天井の新しいエルサレムから来たのです。そしてこれは月であるに違ありません、エルサレムそしてそれは天からの新しいエルサレムではないのです。そして月はその教会、地上のものを表しています。

そしてそれは教皇がエルサレムに行く前に起こったとしてもおかしくはないのです、天井の月は完全にブラックアウトされ、数日彼の旅に行く前にそうなったのです。彼はここにも来るのです、ご存じですよね。さて、それは知られてはいませんでしたね。でもそれが何を見せているのでしょうか?それはこれ、、彼のしている事はエルサレムに入った後の数日に彼があつたフェローシップを勝ち取ったのです、彼はギリシャ正教の段階に会っているのです。そしてそれが何を反映しているのでしょうか?彼らが欲しいのは、フェローシップなのです、プロテスタントそしてカトリックが一緒になって、完璧にそうなることになっています。そして神はこれを我々の中で月の中で肝炎なブラックアウトとして反射することになります。彼の哀れみと恵みにより、

39 誰か月の写真を撮った場所の新聞を見た人はいますか?わたしはここに持っています。それが完璧なイメージでなければ、7つ目の時代はまだ置いていないのです、それは聖霊によって教会時代は間違いなく

その方法で書いたのです。6つ目までの時代があり7つ目はまだ終わっていません。6つの月の状態は初めの教会時代がいかに明るかったのです、2つ目、3つ目、4つ目5つ目6つ目は聖霊によって私が黒板に書いたようになりそれらはタバナクルの壁に2年前に認識されていて、暗くなっています。月はそれ自身が反映していてまた科学は教会時代の写真を又選びただ、それがライフマガジンに光の裏側として封印が開かれ7つ目の時代の御使いが明らかにされた時に現れたのです。彼のミニストリーの日々、7人目の御使い、神の奥義、全ての奥義がその時代に沿ってあり、明らかにされるはずなのです、はっきりと表れるのですそれがその時代に起こるはずなのです。そして彼はそうされました!神の御言葉が敗れることは無いのです。それは奥義ですよね?神は天のうちに同じことを書き同じ神が黒板に私に彼自身の導きによって書かせたのです。それは3回で、神は完璧にそれを認識させました、そしてその教皇がエルサレムに行く前でした。

40 さて、それは教会でした、月は教会で教会を表しているのです。そしてその教会の前に、世の影は月を超えました。そして世主義の影、世的な物の影、世的な教会が、聖書の光全体を真っ暗にしてしまったのです。世は光を反映させたのです。わかりますか?世は月の光の中を超えたのです、太陽を盲目にしまったのです。月の反映が地球に光を与えるはずだったのですそれが真っ暗になったのです。そしてその絵がちやうどそのようになっているのが書かれたのです、それが起こる前に靈感によって描かれたのです。

さて、私はシンプソン姉妹がツーソンの新聞に書かれていたと信じています。シンプソン姉妹がそれをその時理解していたかはわかりません。彼女は言いました、「その新聞から写真と記事をいくつか切って起きました」と言って私に渡してくれました。

そして私は何か変な感じだと思ったのです。私はそこにあったように、そしてそれをピックアップしてそれを見たのです、そして言いました、「それで良い、ちょうど、私が探していたものだ」そしてそれはその新聞の中にあったのです。

41 もし、そのコピーを欲しがったら、シンプソン姉妹は新聞に何が書かれていたかを言うかもしれない。(シンプソン姉妹は言います、「それは12月28日です。」そして何を言いますか?「12月28日の夕刊」12月28日の夕刊。

彼がエルサレムに行く前にその光が消えるかそれを持ってアクセスすることになりますね。時間、立ち位置、そしてその権利が輝いていなければなりません、さて、それは一緒に切ったのです、終わりの時代のために、7つの目の教会時代に、彼女は闇の中に入っていったのです。主が言われる素晴らしい事。全ての事の中に、それは、完全な審理で、指定されていて、認識されているもので、天の神がそれを言われ、それを話し、それを見ていたのです。

42 暗闇、このラオデキア教会時代。さて、イエス様がみ言葉であるとき、ロアデキア教会時代では、主は教会の外側に居て、扉をたたいて入ろうとしているのです。闇、真っ暗闇がこれらの民を覆っている。聖書は正しくなかったでしょうか?

聖句の完璧性、彼の偉大なる名こそ栄光なのです。教皇の訪問は教会が暗闇を出ようとしている印なのです。彼は表されているのです。世の光の表れが聖書なのです。イエス様は言われました、彼は世の光だった。聖書は言いました、彼がみ言葉なのです。そしてその表れ、、、、あるいはその指定された聖句こそが光なのです。さて、これを取るときにあなたはそのような事をする事は許可されることは無いのです。そして我々は影を見てきました、それは起こる前の靈感によって語られているのです、月によって前もって影として見せられているのです、そしてそれが起こっていることが見えるのです、そしてここでそれが起こっているのです。

43 その時は既に来ているのです、闇の時代真っ暗闇。人々の上に闇が今覆っています、それが事実なのです。その本来の意味は?我々は今どこにいるのでしょうか?どの時代に生きているのでしょうか?主のご来臨にどれほど近いのでしょうか?あなたは言うでしょう。「皆がリバイバルを持つ時」

「恐れるな、小さき群れよ、御国を下さるのは父のみ旨なのである」その通りですね。

その意味は何でしょうか?神は闇から光を分けられ始めているのです、それを後ろに置きつつあるのです、彼は新しい日の夜明けを見せ始めておられるのです。その教会時代は消え始めているのです。(ブラナム兄弟が咳をする)失礼しました。教会時代は消えかかっています。神は闇をある場所に押ししています、、、それはそうしなければならないのです一教会の組織を消し、世を消していくのです。世は物事によっておおわれています、世的主義がすべての事を取っているのです。それこそ神は正しいのではないのでしょうか世的な事、世的な服装、世的な行動、世的な生活。それこそが世なのです!

あなたは世の物ではないのです、小さな子供達。あなたは天のものなのです。これはあなた方の住まいではありません。

我々年をとっている者たちは振り返ろうとして若くなろうとすべきでしょうか？我々にはそれは出来ません。しかし我々は前を向くことが出来るのです、振り返るのではないのです。ここを見てください。何がありますか、将来を知りたいのです。その時代を探して、そこに向かっていくのです。

44 さて、沢山の良い、誠実な人々が、今日、これらの信条、これらの教会や組織に捕まえられてしまっています、「信心深い様子をしながら、その力を否定している」第2テモテの3章にも描かれています。

大きな闇がイスラエルを盲目にしているのは、異邦人に光を与えるためでした。さて、異邦人が盲目になるのはイスラエルの光なのです。それはちょうど、昼と夜の様です：片方が真っ暗闇になると、反対側は光を得ますそして、光は反対側からくるのです。さて、え月はそのようになっていました、世界がその光に対して盲目になり闇が反射していて、その反射が我々異邦人の教会の時代の終わりとなるのです。その教会は彼女自身をその時代のために準備してきたのです、何のために？携挙のためにです。その暗闇が異邦人の上からけて、その夜明けがその後すぐにもユダヤ人の上に注がれるようになるでしょう。太陽は東から西に行きますそして我々は西海岸に居ます。その光は唯一東に戻ることが出来るのです、つまりは反対側にです。わかりますね？その光は唯一東に光を戻すことが出来るのです。神はしばらくの間彼らを盲目にされましたが、その闇は今、異邦人の世界全体を覆っています。その異邦人たちは、異邦人の時代が終わるまでエルサレムに来ることになりません。イエス様はそういわれました。そしてさて、それは終わっているのです、人々に闇が覆っているのです。神はそれを空で反映させていますというのは、彼はそれがすべて起こる前にそれを見せて下さったのです。我々はその中に居るのです。

45 神の人々はこのことにとらえられています、引き人々、誠実な人々。丁度マリアとヨセフのような、彼らとはとても誠実でした、わかりますね、彼は彼らとともにいました、彼がマリアとヨセフと一緒に居なかったとき、後尾zん時のように、彼らが、イエス様が12歳の時、お祭りのためにエルサレムに行きました、彼らは彼らとともにいると考えていたのですが、彼はいませんでした。今日の人々も同じように考えています。これらの人々は、キリスト教会協議会の中に組織化されているのです、これらの人々はこれらの組織に属しています、彼らは彼らは良い事をしていると考えています。彼らは彼が彼らとともにいると信じていますが彼らはそうではないのです。わかりますね。多くの人々は、イエス様が説教師やなんかと握手するときに彼らの名前をその本に書くときに、ともにおられると考えていますが、イエス様はおられません。多くの人々が「父、子、聖霊」の名前で洗礼を滴礼でした時に、イエス様が彼らとともにいると信じています。彼らは良い人たちです。マリアとヨハネも良い人たちでした。しかし実際には、彼はそこにはおられなかったのです。だから何に対しても思い込まないでください。

46 光とは何ですか？その指定された神の御言葉なのです！その外側には光は無いのです。わかりますね。あなたは地上を懐中電灯で照らすことはできません。それは神の御言葉が御子が顕されることが必要なのです。

彼らは良い人々でした。神の言葉の正確さを確認してください、それがどれほど完璧かを。マリアが言ったことに気が付きましたか？さて、あなた方親愛なるカトリックの方々、私はあなたに敵対していません。あなたに敵対することは何もないのです。それはあなたが居る体制の事なのです。そしてあなた方ペンテコステ派も人々も、同じことです。その体制に問題があるのです。

「マリア、神の母？」12歳の彼女自身の息子が彼女を正しくさせなければなりません。それは聖書でマリアを彼女の母と呼んでいる場所はただの一度さえもありません。彼女は彼の母親ではありませんでした。彼女がどうやって神の母親になれるのでしょうか？彼女は彼が地上に来るために使われた母胎だったのです。彼女には全く何も無かったのです、一度さえも「母」と呼んでいる場所は無いのです。

47 気が付いてください、どうしてマリアがそれ程間違っているからしかし神の御言葉はそれほども完璧なのです。彼女は、彼に彼女がそののみやの中で彼を見つけた時言いました、12歳の時に、その神学者たちと話し合っていました。彼は彼らを圧倒しました。12歳の少年で学校にさえ行っていなかったのです、あるいはもし、それは、私たちはそれには記録はありません。しかし12歳の少年がその宮の中で彼の知恵によって彼らを圧倒させたのです。彼女は言いました、「あなたの父おやと私は涙を流しながらあなたを探していた」「あなたの父親」その母親自身は、こういうべきだったのです、「あなたの父である、ヨセフと私は涙を流してあなたを探していた」

彼は彼女になんて言ったのですか?「私が父の仕事をしている事を知らなかったのか?」もし彼はヨセフの仕事をしていたのであれば、彼は家を作ったり、あるいは大工の店に居たことでしょう。しかし、彼はヨセフの息子ではなかったのです。「私は父の仕事をしよと」彼は決してヨセフを彼の父と認めていませんでした。しかし、マリアはそうしていたのです、彼は戻って、そのことをはっきり彼女に指摘しました。

彼女は言ったのです、「あなたの父親と私はあなたを探していた」

彼は言いました、「私は父の仕事をしていた」ヨセフが彼の父親で無かったことをはっきりさせているのです。神の御言葉は完璧ですよね。

48 しかし、マリアと彼らはただ、それを推測していたのです。さて、それがそうであったとして、彼女はそれを続けたのです。彼女は、彼女がこれらの祭司や彼女がそのような女性ではないと言う事を表したかったのです。そして彼女はそれをしましたが、彼女の証の元で起訴を完璧に壊してしまいました、彼女が、天使が彼女に来たことを告げた後にでして、「そして言いました、「あなたは身ごもって息子を生む、処女が懐妊したことは人には知られたことは無かった」そしてここで、ユダヤ人の最高法院の前で彼女は言いました、「あなたの父ヨセフと私はあなたを探していた」

そしてその12歳の少年はこういったのです、「私は父の仕事をしているのである」と彼は彼女を叱責したのです。「ヨセフは私の父ではない」

49 さてその教会は今日、協会や世の物と物事を続けているのです、さて、彼女は消されました。神ご自身が彼女を叱責しているのです。

イエス様は彼女を「母」と呼んだことはありませんでした。ある日、彼女が彼の集会を訪問した時、家の中でこのような事がありました。誰かが来て言いました、「その扉の外に、あなたの母親と兄弟があなたを待っています」

彼は言いました、「誰が私の母で私の兄弟なのか?彼らは誰なのだ?」周りを見回し彼の弟子たちに彼は言ったのでした「私の父のみ旨を行うものが母であり、私の兄弟、姉妹なのである」そうなるのです。

そして十字架で、彼が死にかけているとき、彼はヨセフに言いました、「最年少の弟子でした」イエス様は、「あなたの母を見なさい」「女よ、あなたの息子を見なさい」「息子よあなたの母を見なさい」わかりますね、彼自身の事を彼は言っていない。それは彼女の息子ではなかったのです。それは神の御子でした。彼女はただ母胎として使われただけだったのです。

今朝これは家で、それhあ教会ではないのです。教会はあなた方の中に居るキリストなのです。ここに座っている死ぬからに住む例が天的な場所で集まっているのです。それがキリストであり家ではないのです。家は大丈夫です、使えるための目的を果たしていますが、それは集会の場所として使われるにすぎません。マリアは彼が地上に来るために使われた母胎にすぎません、彼自身が人々の間に居る事を認識するために。彼女は「神の母親」出はないのです、神の教会の家以上のものではないのです。そのためにただ使われただけの事でした。

50 そうです、多くの友人たちが今考えているでしょう一人々、マリアとヨセフのような良い人々ー彼は彼らとともに居てこれを行った事。しかし、彼らが奏したとして、彼らh合間もしている、それは間違いなのです。彼らは彼とともにいた、しかしそうではなかったのです。しかし彼らが洗礼を受けた時、人々は感がるかもしれませんが、「オー私は彼を受け入れた時、洗礼を下」そうではないのです。語られた言葉それ自身が反映されるまで!

51 しかしその選ばれたものは、今の光はどうなっているのでしょうか?わたしはそれについてhなしてきています、今闇が深くなってきています、私の時間の半分は終わりました。さて、それをひっくり返しましょう。人々の上に闇が覆っている、さて、光は今どうなっているのでしょうか?彼は闇が人々に覆うと言いました、しかしそこには光があるので。「立ち上がって輝きなさい、光が来るように」どのようにして闇と光がともにいることが出来るのでしょうか、それは分かれて居なければいけません。そして唯一それを分かれさせるのは、御言葉が分かれさせるようにあらわされるのです、反対側に行くために、、今闇が地上を覆っていますが、神の御言葉が明らかにされる時、その太陽はみ言葉が話されることによって存在するようになるのです、それ自身を見せて闇は反対側に行くのです。そしてそれが起こるのは今なのです、闇が光から離れるのです。さて、この闇の時代に選ばれた教会に対してです、そしてしかし、私はあなた方がその聖句の意味が分かるまで十分言ったと思います。「闇がこの人々に覆う」と言った時の事です。

52 さて私はその教会に言うのです、「シャローム、神の平安」平和!本物のヘブライ人は皆、お互いに人々に会うとき、「シャローム」要するに、「おはよう!神があなたとともにおられる!神の平安があなた方に来るように!それは「おはよう!お元気ですか?」それは日が始まる時です、教会の皆さん。それは闇が人々に覆っているのです。しかし「おはよう」と協会に。キリストが我々の中に現れているのです。「シャローム。平和。ハレルヤ」「シャローム」

我々が闇のうちに落ち着いているのがわかる時、闇とはその日が始まるちょうど前なのです、我々はその明けの明星を知っています、来られる太陽を裏に居て紹介するのです。その明けの明星が輝くときです。それはその間に起こるのです。それは常にその日が始まる最も暗い時の数分なのです、闇を押し出して光をくれるからです。しかしその明けの明星が出てきて言うのです。「おはよう。シャローム」とです。

53 それは神ご自身が我々の中におられると言う事です、神の御言葉が認識されているのです。シャローム。素晴らしい日が始まるのは決められているのです、その朝が来ると永遠に、輝き素晴らしいのです、神の選ばれた者たちが、彼らの家に空中で集まる時。その音が後ろならされるとき、私はそこに居る。我々の名前は彼の書の中にあるのです、我々はそこに居るのです。「シャローム、おはよう。平安があなた方にありますように」

闇はそれ自身光から離れているのです。神がそれをされたのです、光がそれをしているのです。わかりますね、光自身がそのようにして闇がともに集まるようにするまでそのように押しおられるのです。彼らはそれを受け入れる機会がありましたそして彼らはそうしなかったのですそしてそれ自身を凝縮させたのです。そして彼らは教会を一緒にすることによって奏したのです、それが世界教会協議会なのです、そしてそれこそが異教徒の闇と団結しているのです。彼らがお互いに強く不同意するとき、しかしそれでも人々に闇で覆うために共に動かなければならないのです。

54 イザヤ60章1節では「起き上がって輝け、あなた方のために光がきた」と言っています。

起き上がって輝け、光が来ている。その光こそがみ言葉出再び指定されているのです。その光が再び指定されています、神の御言葉、それがその時代の光として神の約束の中に神を見られるようにあらわされるかこの時代に与えられている御言葉なのです、これらの約束は預言者たちによってそしてイエスキリストご自身によって言われたのです。この時代において!「神は、古の時代から、「ヘブル1章、神は、むかしは、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、先祖たちに語られたが、この終わりの時には御子イエスキリストを通して語られる」とあります。

55 すばらしい光が荒野にありました、モーゼはエジプトの偉大なる宝よりもキリストへの信仰の方がまさるとしてエジプトを捨てたのです。

同じ方にサウロがダマスカスに行く道で会ったのです。その偉大な光が彼の前に会ったのです、同じひかり、同じ火の柱でした。サウロはヘブライ人でいかなる霊に礼拝したりはしませんでした、あるいは「主」と呼ぶこともありませんでした。しかし彼は「主よあなたはどなたですか?」と言ったのです。

その光である彼は言ったのです。「私はイエスである」(イエスは言われました、「私か神から来て神に戻る」と)

同じ光が来たのです。何に対して?それを表すために、人々に彼が今日において約束をすること、その時代のために光を表したのです。闇はより暗くなっているのです。

56 彼が来た時、その時代の光だったのです。救い主が来ることが期待されていました。そして彼はちょうど神のように来られたのです、神は来ると言っていましたから。そして彼が来られた時彼は何だったのでしょうか?その時代の光でした。そしてそれが彼にすごく敵対する闇を押ししたのです。そうですね?彼は光を続けるために彼の命を与えなければなりません。さてその理由は、彼は何故その時代の光だったのでしょうか?彼はみ言葉によって指定されておりそれが事実となったのです。だから何の心配もありません。

神は光も無くこの時代において暗く、曇っていて、湿気が高い世界を見られていたのです、神はこういわれました「光あれ」とそしてその御言葉が顕されるまで光は無かったのですそしてそこに光が顕されたのです。

神は言われたのです、「救い主が来られる」その約束がなされるまでそれは表されませんでした。そして彼がその約束が指定されたときになったのです、彼は「御言葉を調べなさい、あなた方が永遠の命を持つ

ていると思うならば、そして彼らは私の事を証言する」と

彼らは言いました「私はその時を知らないあなた方来られる時を、我々はモーゼの弟子たちである」

彼は言われたのです、「もしあなた方がモーゼの弟子ならば私の事を知っているはずである。モーゼは私の事を書いている」わかりますね。彼はその表れなのです。彼はモーゼによる話された指定された御言葉そのものだったのです。

57 そして今我々が生きているこの時代、神は彼の約束が指定され証明されたものとして来られたのです。そして、それこそが時代の光で、我々が起き上がり輝くことが出来るのです。園に狩りの輝きが我々の上に再び来ているのです、その御言葉が顕されているのです。それが光なのです。

そこで輝いていた光とちょうど同じようなものなのです、今朝の太陽光のようになります。その語られた神の言葉は、それ以外の何物でもないので。何もそれをする事が出来るものはありません。いかなる人口の光もすぐにつぶれてしまいまs、電球やその他すべてがです。しかし神の語られた言葉が表されるものは決して失敗することはあり得ません。

小さな宗派の信条は電球をつぶし、飛ばしヒューズをダメにしてしまいます。しかし神の御言葉は決して敗れる事は何のです。それ自身なのです常に、それこそが御言葉なのです。

申し訳ないのですが、時間が超えてしまいそうです。あるいは、時間を超えてこのメッセージを終わらせてもいいでしょうか?ありがとう。

58 起き上がって輝け、光があなた方に来ている。その御言葉、光は指定されているのです。

その唯一の方法は、神である、イエスキリストが、語られた神の言葉として表れてその時代の光であったと言う事なのです。

バプテスマのヨハネはその時代の光でした。彼はイエスが光としてくる前の光だったのです。預言者イザヤがこう言っています、「荒野で呼ばれるものの声がする、主の道を整え、彼の道をまっすぐにする」それが神の語られた言葉でした、それがそこに置かれていて、その命はまだ来ていなかったのです。最後の預言者であるマラキがそれが起こる400年前に、彼はこういっていました、「見よ、私はわたしの前に御使いを送る、主の道を整えるためである」彼は荒野からくるもので、宗派のなく、信条も無く、認識されるものでもない。しかし彼の光は彼によって認識される。その御言葉が彼を認識したのです。

彼らは言いました、「あなたが救い主ですか?」

彼は言いました。「いいえ違いますが、私は荒野で叫ぶ声で、主の道を整えるものである」

イエス様は言われました。「あなたは彼のに狩りの中を歩んだ」彼はまばゆく輝く光だったのです。何故でしょうか?その道が整えられるまで、そして彼の光は消えたのでした。

あなた方バプテスト派の皆さんは光の中を歩むことはできません。それはその時代の光なのです。光は来たのです。起き上がって輝きなさい。御言葉、その光、御言葉が、神の御言葉が認識されるそれこそが光なのです。

59 さて、新年に我々が面しているものは何でしょうか?これ以上に闇からでる光について言う事が出来るでしょうか、この間に来る光を紹介しますしかし、今我々は、真のなく新年に入っていこうとしています。わかりますね。

新年、新年、それはどういう事でしょうか?わたしに希望をもたらしてください。我々はもう一年居近くなっています。昨日よりも一日近くなっているのです。一時間前我々が始めた時よりも、近くなっています、あと15分で11時、それは今あと15分で12時になっています。我々は一時間近くなっているのです!後ろを向いてはいません、前を向いているのです。オーその通りですね!新年と言うのは、新しいページを開けるという意味ではありません。オーオーいいえそうじゃないのです。

60 ある朝私が聞いていたその人のようにです。ある人が早く起きて、新聞を取って帰ってきて、ソファーに座って足を置いて、眼鏡をかけて、その新聞を読み始めたそうです。彼の妻が朝食の準備をして、彼女は「ジョン、何か新しい事がある?」と言いました。

彼は「何も、何時もと同じだね、ただ新しい人々だけだよ」はい。その通りです。殺人、レイプ、そしてすべての事。他の誰かがそれをしているのです。その通りです。

61 新しいページを開くのではないのです。聖書を開きましょう、今日のための神の言葉の約束がなんであるかを見ましょう、その時代の光がなんであるかを見ます。我々は今年、信条や何かに戻るのではないのです、古い宗派に戻るのでもなく、ただ御言葉を開くのです、どんな光がこの時代に輝いているかを見るためにです。オー教会の皆さん、聖書を開いて、御言葉に戻って下さい、正しいスイッチを押してください、電気の周りで人工的なものを見続けるのは止めましょう。彼の御言葉をそして今日のための約束を見ましょう。そしてその時、その約束がなんであるかを見るのです。そして、その認証を見るのです。それが指定されているとき、そしてあなたが光の中に居るか否かを知るのです。その約束がなんであるかを見てください。

そのページを変えるか、カレンダーを変えても時代は変わりません。多くの人々はこういいます、「旧年は終わった、古い12月のカレンダーは今捨てて新年の新しいものをおこう」彼らにとってそれが新年の意味になっているのです。

私にとっては、その時代の約束がなんであるかを知りたいのです。その時代の光がなんであるかを知りたいのです、そしてその中をどのように歩くかを知ることが出来るのです。私が何処に生きている顔を知りたいのです、私が生きている時代が何時であり、その道をどれほど歩んできているかを知りたいのです。

パウロが言ったように、「後ろのものを忘れ、高い召しのために体を伸ばしつ」完全な認識のために、イエスが来られ永遠に入るときにはすべての事が消えていくのです。

62 ダビデがしたようにするのは、あなたの将来を全て主の御手のうちに置くのです。他のものは何も見ないのです、しかしあなたがすべてを置いたときに、ダビデがここで言ったように、「私の時は主の手の中にある」詩篇の62篇でこれを読むことが出来ますね。「いかなる時にも彼私は彼に信頼する、彼は私の岩である」彼とは何でしょうか？「彼は私にあらわされた。彼は真実を表された。私の時は彼の御手の中にある」アーメン！素晴らしい！

私の時間は彼に属しているのです。私は彼のものです。彼が時を持っておられるのですから私は彼の手の内にあるのです。将来に何があるかは知りませんが、彼が将来を持っておられることを知っています。そして、その将来を持っておられる方が私を持っておられるのです。さて、何故、これ以外新年に考える必要があるでしょうか？私自身はただ彼の手の内に自分自身を置く以外にあり得ません、ちょうどダビデが歩んだように「すべての時は彼の手の内にある」彼は紙が将来を握っている事を知っていたのです。ダビデは将来がどうなるかは知りませんでした、彼は神が将来を握っておられることを知っていたのです。私は将来がどうなるかは知りません、我々の誰もそうなのです。しかし神が将来を握っておられることを知っています。

63 忍耐、忍耐。我々のうちの何人かは、とにかく急ぎ過ぎです。思うに多くの良い人が奏してきたのです。すごく急ぎがちになってしまうのです。あなたがしたい事があり、それを自分自身でしたいのです。

そして聖職者である兄弟、私が何時から話しているかは分かっていますね、このテープを聞いているから。私はあなた方に話していますね、この小さな会衆だけではなく世界中の人々に向かって話しています。

多くの人たちが忍耐が無くて出て行っていますが、その時が近い事は信じています、何かあなた自身の中でやろうとしているのです。主を待ち望みましょう。忍耐は徳(力)なのです。もし忍耐を持つことが出来るならば、それは徳(力)なのです。それはもし、、得なのです「彼らは彼らは主を待ち望むことによって彼らの力を受けているのです」彼らは主に前を持って言おうとしているのです、主よりも前に行こうとしているわけがないのです。「主よ、私はあなたがこれをさせたいことが分かっています、そして栄光を神に、、」それをしてはいけません。主を待ち望みましょう。聖書はこういっています。「しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。」(イザヤ40:31)

64 神は何千年も前から救い主が来られるという彼の約束を成就させました。しかし覚えていてください、彼は常にそのことお知っていました、その時が来ることをです。多くの人々があがっておて救い主になろうとしたのです。沢山の教会が救い主を作り出そうとしました。しかし、神は彼の送る救い主のための時間をはっきりさせていたのです。

そして、この時間の間、彼は救い主の多くの種類を見せていました。彼は全道を通してアダムからメシ

ア(救い主)をはじめと最後のアダム、彼らのうちの一人は世の物でもう一人は天の物、一人は地上につくもので、もう一人は天的で、一人は天からもう一人は、地からくるのです。しかし、約束された救い主、彼がそれを成就させるのに何千年物年月がかかりました。

ヨセフの中にもちょうど彼がどんな方が見せられていました。ヨセフは彼を表していたのです。

ダビデは彼を表していました。ダビデは王に拒否された時、丘に上がっていき、戻り、エルサレムの上で拒否された王として泣いていました、「エルサレム、エルサレム、牝鶏が彼らを集めるように、彼らを覆ってきたのに、あなたは集まって来ない」

65 ヨセフを見てみてください。彼の兄弟たちの中に生まれて、愛国者であり最後のものではないのです。(そのあとにベニヤミンが生まれていて、彼が最後でした)しかしそのちょうど一人前だったのです。彼の兄弟全員から憎まれ、父から愛されていたものでした。彼は彼が霊的な人だったので、憎まれていたのです。彼は夢を解き明かすことが出来ました、それらは皆全く正しいものだったのです。彼は幻を見て、その前に起こることを先見することができたのです。そして彼らは彼を憎んでいたのです。彼は30枚の銀で売られたのです。

彼らは何故イエス様を憎んだのでしょうか?彼らは彼をベルゼバブと呼んでいました、彼はみ言葉だったからそして御言葉が人々の心の思いを識別することが出来たのです。彼らは彼を憎んでいました。そして彼らは彼を30枚の銀で売り払ったのです。

66 彼は穴の中に投げ入れられました、ヨセフは死んでいたはずだったのです。彼の血の付いたコートは置き去りになっていました、ちょうどイエス様の血の付いた衣類が十字架から取られたように、彼のローブが彼の死を表していました。しかし神がヨセフにされたことは無んでしたか?彼は穴から彼を引き上げ、パロの右腕にさせたのです。パロに会えたのはヨセフ以外誰もいませんでした。そしてヨセフが宮殿を去ったとき、ラッパが吹き鳴らされて宣言されたのです、「ヨセフがやってくるから皆ひざをかがめよ」

同じことが、イエス様にも起こります。彼は死んだ場所から引き出されたのですが、全知全能の方の右手に死から蘇り座られたのです。「誰も神を見たものはいないが唯一、御子だけが見ているのでs。そして彼がそこを去るとき、ラッパの音がすることになり、全ての膝がひざまずき、全ての舌が告白します。「わかりますね、彼は豊かさの王子デス。エジプトが何を下か見てください、それが全世界を来るべき干ばつから救ったのです。」

彼はすべての面で来るべき種を表していますが、神は彼がどのように来るかを全て知っていました。彼は彼が来る時をはっきりと知っていたのです。それほど人数をかつて持っていた人が居ようとも、彼はメシア(救い主)を持っていたのです。神が彼らのタイプを表しています、それはつまり今後迎えに来る人の事です。

67 ちょうどそれは彼が7つの教会時代の中で我々に見せて下さったのと同じだったのです。丁度それは彼が再び来られてそこに火をつけられるという黙示の中でそれを世界に見せるということだったのです。彼が7人の御使いを送って7人のメッセンジャーたちがそこを通っており明らかにされたのです、それらは各御使いがそれぞれの時代においてふたーが残しウェズリーが残しペンテコステ派が残したものがそこで全て表されていたのです。そしてすべての種類そして素晴らしい平安の影の中で、エホバ、ジャフ。ですね?その通りです。空の中に投げている、機械的な目がその中にあったのです。主よ感謝します。

シャローム!平安!心配しないでください、イエス様はここにおられます。彼の偉大なる光が我々のところに来たのです、そして感謝しているのです、はい、神の言葉、偉大なる奥義です。彼は彼自身を今日明かにされていて、彼がその時されたのと同じことをただされているのです。その全く同じことをしておられるのです。

68 我々はその時代の創造物なのです。神は永遠の方です。我々は自分自身でやろうとします;我々は何か違いをもたらそうとしています、「オー、これはされていなければならない」覚えておいてください、彼はそのすべてをご存じです。それは起こるのです、とにかく。彼にそれをさせてください。自分自身を彼にただ差し出してゆだねるのです。

見上げてください、そして主の喜びのうちに輝いてください、あなたは特権を与えられ、この日を見るために目が開かれたのです。未来については主に信頼してください。あなたは彼の御言葉がその時代に指定されたのを見てきました。彼は過去にすべてこれらの事がその時代につきり我々が生きている時代に全く7

番目の御使いのメッセージとして両方、天と地で起こることを見せられていたのです、それが起こるようにされてスリップアップする事もなく覚えている事は出来ないのです、彼は再び来られることを約束されていました。ハレルヤ!その御言葉は指定されるのです。神の約束の言葉は2千年の間待っていて、彼は正しい時間に到着します!心配しないでください、彼はここに来られるのです。彼は彼の言葉の中でどの時代でも指定されてきたのです、教会時代の間も同じことが見せられています、そして、我々の主が7つ目のメッセージによってそれからずっと明らかにされてきているのです。神はそれを明らかにされ、それが動き、証明されてきたのです。そして今日われわれはその中に居て、我々とともに彼自身を表され、神の御言葉を証明して指定されるのです。常にそうされます。

69 至福千年が来るのは間違いありません。年よりもそこでは永遠に若くなるのです。病気は消え去り、死さえもそこにはもうありません。彼らは家を建て、彼はそこに住むことになります。彼はブドウを飢えてその実を食べるようになります。彼らは飢えず又他のものも住むことは無いのです、(彼の息子もそれを取り、彼の息子は彼自身ですむこととなります)彼はほかの食べるものやそこから死ぬものを植えたりはしません、そして誰かほかの人がそれを取るのですが、彼はそこに住むこととなります。アーメン!(テープの中に空欄があります)何も傷つけるものはありません。我々は今とは全く変えられ、神の御子の素晴らしい形に、神の御子である死なないものとなるのです。年齢は彼に触れることは無くなります、何も関係なくなるのです、彼は死なないものとなるからです!そして我々が終わりの時に居る事は知っています。我々は分岐点に居るのです。全てのこれらのものは間違いなく認識されていて、また再び認識されるようになります。

70 さて、その未来は、主がおっておられるのです。どのようにして彼がいつ来るかを知るのでしょうか?彼はいつ来るのでしょうか?私は、わかりませんが、彼はここに来られます。その通りです。何時彼はそのような事をするのでしょうか?その呪いが地球から解放される時は何時なのでしょう?これらの神の愛の祝福の反映とここ二木が立ち、輝き、そして花やその他のものは死なないものは何時育つのでしょうか?私は知りませんが、彼らは育つのです。全ての行きたいと望む人の心に反映する時に、病院や医師や手術や鳴き声や悲しみや、全て消えていき、イエス様と十に1000年間の栄光ある支配をするのです、シャローム?それは何時なのでしょう?私は知りません。彼はそうなると言われました。私にはどのように彼の指定された、義のチア洋画上がり彼の翼とともに癒されることは分かっているのです。そして肉体的な癒しは誰かが病気になることもそこではないのです。それを神様がしておられる事です。しかしすべての創造物は変わります!この死すべき体が死なない体になるのです。この年おいたからだ若者になって飛んだりするのです。アーメン。それは何時なのでしょう?私は知りませんが、それはここにやってきます。

71 私自身年をとってきています。今年、もし主が4月6日まで生きさせて下さると55歳になります。もう年長者です。しかしそんなに年取って見えません、、でも少年に戻りたくはありません。先に向かって手を伸ばし、私がこの地上に来た目的のために行きたいのです。約30年以上この机の後ろで立っています、若い時20代の時からたぶん21才か22歳くらいの時からこのメッセージを宣言しようとしてきました。そして私の力のすべてをそれに注ぎ込んできました。私の肩は懲り、髪の毛は白髪が出来おち始めています、そのために振り返ったりしません、再びそのために来た事をしていくだけなのです。ある日の始まりに後ろを見てその指定された神の御子とアを考えていました、神は言われているのです、「あなたの頭の毛一本も消えることは無い、終わりの日にもう一度、復活させる」どのようにされるのでしょうか?わかりません。でもただ、信頼しています。

72 新しい年に、何があるか私はわかりませんが、神が握っておられることを知っています。それこそが新年に対する私の希望なのです。もし彼が来るならば、アーメン!もし彼が来なくても、私を生き続けさせて下さるならば、働き続けるのです。ただ将来のすべてを彼に信頼しているだけなのです。何であるかはわかりませんが、ただ彼に信頼するのです。あなた方は彼の立証された彼の言葉を居てきました、だからあなた方はそれがなされることも知っているのです。彼の御言葉!

あなた方は「ブラナム兄弟、それをどういう風に受け取るのですか?」と言うのです。

さて、あなた方にちょっとの間いくつかの思いを言わせてください。シンフォニーが何かを知っていますか?知っているとうわっています。それは音楽で、劇なのです。つまり彼らは演技しているのです。

さて、小さな子供達、君たちも悟るようになるでしょう。学校で、学んだと信じているので覚えているでしょう、小さなロシアのシンフォニー、時々彼らはドラムを使って演技をします、何ていうか知っていますか?確かそれは、小さなウッドペッカーの話でした、わかりますね、それは森に居たのです、彼らは飛び回っていました、ドラムやその他のものを叩いていました。そしてあなたはそのシンフォニーの中で彼らが演技する音を聞くのでs。その名前を忘れまして、、えっとー「ピーターと狼」だね。そうです。「ピーターと狼」さて、それはロシ

アのシンフォニーなのです。彼らは小さな人形を飛ばしたりはしないで、それを演奏したのですが、彼らはそれをドラムをたたくことで表したのです、(ブラナム兄弟が、いくつかの木をたたく)そしてそれから、(ブラナム兄弟が別のものをたたく)そしてドラムとその音を作り上げたのです。それが演技をしているようにしたのです。さて、何をブラナム兄弟が言おうとしているかわかりますね。

73 さて、あなた方大人たちへ、シンフォニーは神のシンフォニーなのです。はい、ハレルヤ!作曲家だけがその本当の意味を知っているのです、そして彼は聞いている人たちつまり興味を持っている人たちに明らかにするのです。しかし、あなた方はまずシンフォニーを知らなければなりませんね。それは何かただ見るだけのものではなくそれは変わって切っているのです、その言葉の分岐点、音楽の分岐点となるのです。それは時々、暫くの間特定のビートを打ち、全てを変える事になりますね。それは何でしょうか?あなた方の中でそれを理解できない人たちあるいは何も知らない人たちあるいはそれに興味がないならば、それはただのラケットあるいは騒ぎにすぎません。しかしそれを知っている人たち、それを見ている人たちは分かっているのです、何が来るかを。ハレルヤ!

74 さて、我々に神の言葉のシンフォニーにおけるシンフォニーの時間があります、それはドラマ全田を変えるものなのです。興味のある人は変化のためにそれを聞くのです。あなた方はそれが近くなっている事を知っています。ドラムの音が響き始めているのを聞き何かが起こってほしいと考えていますね、アーメン。これは変化だとわかっていますね、数分ですべてが変わるのです。あなたはそれを探してみているのです、ドラムがどのように刻まれているかを言えますね。アー神様!今そのドラムの音が終るのが聞けたならば、天的な言葉の音楽のは反響を聞くことが出来量になるのです、「神がこう仰せになる。終りの時には、このような事が起こるであろう!」カモの偉大なドラマのシンフォニーを神は奏でておられるのです、それは主が変わられるのです、彼のシンフォニーは今交差しているのです。作曲家と興味を持つ人達はその変化を聞いているのです。それがこの我々への物のすべてで、我々は聞き、見ているのです。毎回、主が表れる時、何かが起こるのです、我々はその時が近くなっているのがわかっています。教会時代がはっきり分かったときそれほど前ではないのですが、それを振り返ると、我々はそれを聞いていました。我々はそれを御言葉とともにしっかりと聞いていたのです、それは御言葉によって打たれていたドラムだったのです。しばらくして、何が起こりましたか?さて、彼は来られたのです、彼ご自身がそしてそれを立証したのです。

75 我々は「第7の御使いの時に」と言う言葉を聞きました。教会時代で、彼はただこう言われたのです、「第7の御使いのメッセージが最後のメッセージとなる」そしてその時、我々はそれを黙示録10章の中で見出すのです、「7 第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される」。その七つ目の封印が戻されるのです。それはそこにあるべきなのです。そして一度に、それが起こるときに、ある幻が開かれて言われたのです、「ツーンに行きなさい、この時に偉大な音が起こる、そしてそこに送られた理由をはっきりと理解するようになるである。殆ど、それはただ地球を揺るがすであろう。「あなた方は皆そのことをご存じです。それが起こる数か月前にテープに記録されていました。そしてそれは起こったのです!空の上にそれは現れました!「シャローム!」それは何でしょうか?それはそのシンフォニーのリズムを変えるものなのです。

76 そしてある時、主は3つ目の引きについて言われました。この一つの方法でそれはくると、そしてここで分かるようになりそれは話す言葉となるのです。

イエス様は言われました「これよりも大きな事をするであろう、私が父のもとに行くから。」ヨハネ14章、「12 よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」(口語訳)私が暫く前に行ったように、マリアがヨセフの息子として彼を認証しようとしたとき、彼は彼女を正しました。彼の言葉は間違える事はあり得ないのです!彼は言われました、「天地は滅びても私の言葉は滅びることは無い」と

我々がシンフォニーのリズムを聞くとき、その変化が起こります、変化は決められているのです、それは今交差点に居るとですから。我々は彼がそのリズムを打ち始めたことがわかりますそして理解するのです、「私がするわざをあなた方もするであろう、そればかりかもっと大きな技をするであろう」「もっと大きい」彼がそれを約束されたのです。我々はそれはどんなものになるかと思ひめぐらしていたのです。

77 しかし、彼が初めての奇跡をおこなわれた時の事を気付いていましたか、彼は水を

取って、それをワインに変えられたのでした。そうでしたよね?彼は水をつかって何時かはワインになる可能性がありましたがそれは初めは水だったのです。

そして彼が5000人の人々を養った時、何をされましたか？彼は何かを取って、水のようなものを取って、彼は一匹の泳いでいる水を取って、卵から生まれさせ、そしてそれを壊して、ほかの魚を元々の創造から作り上げた方です。彼はパンを取って、それはもともと麦だったのです、それは種でパンになったのです、そしてこのパンをちぎって、何倍にもなさっただけなのです。

78 しかしその森の中には、リスを作るものは何もありませんでした。「そこにあれ」そしてそこに居たのです。何もそれを壊して作ることはできなかつたのです。それは何でしょうか？それは同じイエスキリストなのです！「もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」既に作られたものを取ってそれをちぎってそれからその創られたものを何倍にするのではなく、全く新しく創られるのです。彼が同じエホバであり彼らの中に立って言うのです、「そこにあれ」とそうするとそうなのです。彼の言葉が現されたのでした。彼がこの地上に肉として作られた時、彼は既にあった創造物を取られて小さくして何倍にもされました。しかし今、終わりの時に会って、彼は我々の間に戻って来られるとき、同じ光を動かされて「光あれ」と言われたのですわかりますね。彼はただ、その創られたものを存在させるように語られただけなのです。「あなた方はこれよりもっと大きなわざをするであろう、父の御許に行くからである」覚えていますね、我々はこの時代に居るのです。

79 世はそれを理解することは無いのです、それは「ナンセンスの塊」だからです。何故なら彼らはメソジストではないからです、メソジストはそれを理解しません。というのはそれはバプテストでもないのですバプテストには理解されません。それはカトリックではないから、カトリックも理解しません。それはペンテコステでもないで、ペンテコステ派の人たちは理解しません。

しかし主を待ち望む者達、見ている者たちは分かるのです！誰も歴史上で観測上で星が動いていったという記録はありません。しかし賢者は何百マイルもそれを追って約2年間にわたってそれを見ながらそれを追っていったのです。その意味が分かりますか？それはそのシンフォニーを聞いている者達なのです。

80 覚えてください、作曲家は、初めから終わりを知っているのです。彼はそのすべてを知っています、だから、彼はそれをここに書くことが出来たのです。正しく！さて、あなた方は彼からは始める必要があるのです、はじめなければなりません。もし、シンフォニーを聞きたいなら、彼とともに始めるのです、音楽のシンフォニーと同様にです。あなたはそれが何を言っているかを知っているのです、それはシンフォニーになるのです。そして音楽として聴き始めるのです。そしてそれが何だかわかりますね、そしてあなたはそれがなんであるかを知っています、「ここにこれこれのものがあってそれが起こり、今それが変わらなければならない」さて、他の人には、何もわかりません、彼らはただそこに歩いてきて座るだけなのです、それはただのナンセンスの塊の様で、ガタガタなっている音に過ぎないのです。しかしそれがなんであるかがわかる者達には、音楽のリズムがありその音程に合わせてなっていて、ラッパがなっているのです、そしてハーブが引かれていて、バイオリンも演奏され、ベースもリズムを奏でてきて、そのラッパによってそのドラムもリズムをたたいているのです。全ての事がそのリズムの中に共に入って、あなたが目を閉じてその中に生きられるようになるまでそれはドラムとされているのです。ハレルヤ！

81 人は肉的な目を閉じて、その人が御言葉が奏でる素晴らしいシンフォニーに我々が今生きているそしてくあっている事を理解するとき、イエスキリストのご臨在の中に居る事が出来るのです。御言葉は今生きているこの時代において素晴らしいシンフォニーを奏でています。あなた方はただそのシンフォニーを奏で始める必要があるだけなのです。唯一あなたが出来る事は、もしそのシンフォニーの中に居るならば、初めてください、そのリズムの中に入るのです。それがあなたが神として動く方法なのです。あなたはそこから離れてそれを見るのです。そのリズムに入っていくのです！どうしたらそこに行かれるか？あなたはそこに生まれたのです、御言葉の一部となった沖、あなたは御言葉のリズムの中に生まれたのです。

あなたはそのダンスに入り込んでそのダンスの一部にならなければならなかつたのです。球技のパートをなんでもあなたの興味のあることのパートになるにはそこに入り込む必要があります。

82 神のシンフォニーを知るためには御言葉のパートになる必要があります。彼のシンフォニーはそれが演奏される時、あなたは理解するので、その時代のリズムとともに行進しているのです。あなたはそれを見ているのです。「私が出したわざよりもっと大きなわざをするであろう」これらが終わりの時に起こることです。素晴らしい！その時代の偉大な変化なのです。そのリズムに入ります、御言葉のリズムです。彼の目的を見出しましょう、我々の生きているこの時代において、そのリズムに入ります、彼がどのようにされたかを見るのです。もしあなたが御言葉に入っているならば、彼が何処から始められたかを見出すのです、そしてあなたが彼が常にどのようにされているかがわかるのです。

彼はどのようにメッセージを初めに送られましたか？彼は何をされましたか？彼は組織と対処されませんでした、一度も、彼は今もそれはされていません。もし、世界教会協議会のリズムを聞いていたら、あなたは闇の中に居るのです。しかし御言葉のリズムを聞いているならば、

何がイエス様を殺したのですか？「あなたは人なのに、自分自身を神としている」

83 私のメッセージの3つの種類の信者がいると言う事を聞きました。どのようにそこに立っているかと言うと、信じているように見せかける人たち、暫くは従っているように見せかけるのです。そしてある日、イエス様が彼らは、「人の子についてそう思うか、天から来て、天に戻るもの？私は天から来たから天に戻るのである」

多くの人たちは去って行って言いました、「それはひどい言葉だ」と

そして見せかけの信者たちが彼とともに歩いていました、その70人は何かひどい(難しい)ものを得て、彼らはそれを見ていませんでした、彼らはそのシンフォニーを知りませんでした。彼らはその約束をこの子がエホバであるという事を知りませんでした。「ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。そして彼はこう言った時、「私は天から来たから天に昇っていく！」

さて、彼らは言いました、「これはひどい言葉だ、誰がそれを悟ることが出来ようか？我々はあなたは人であることを知っている。我々はあなたとともに食事をしたり、寝たりした、森の中で一緒にいたし、水のそばにもあなたとともにいた。ゆえに、あなたは単なる人で、こういうのか、人の子は、彼が来たところに戻る？あなたの言っている事は何なのだ？ひどい言葉である！わかりますね、彼らはそのリズムを知らなかったのです。神の言葉のシンフォニーのリズムを知らなかったのです、彼は神が肉によって現れた方だったのです、彼はその時代の御言葉の光として立証されていたのです。彼らはそれを理解しませんでした。彼らはこう言ったのです。「これはひどい言葉である。誰がこれを悟ることが出来ようか？」彼らは離れたのです。彼らはそのリズムを知らなかったのです。わかりますね？

84 そして我々がここで再び気が付くのは、ユダがそこに居たことです、信じるふりをしていたか、あるいは不信仰者、何か問題を見出すまで待っていたのです。そして彼はその弟子たちを12人までにしました、そしてユダは彼らのうちの一人でした、彼は言いました、「あなたも去るのか？」

そしてペテロは言いました、「主よほかの誰のところに行きましょう？あなたが創られた方です。」

アーメン。「それがどう続くは知っていますね。あなただけが命の言葉を持っておられる方です。そこからどうやって離れる事が出来るのでしょうか？我々はパリサイ人や佐渡階人や、ヘロデたちのところに戻ることはできません。」あるいはなんであったとしても、「あなただけが命の言葉を持っておられるのです。我々にはほかに行く場所はありません。この素晴らしいコンサートに加わったのです。我々はここに居ます、聴いているのです、リズムに入っているのです。あなたは神の御子であり、エホバが肉を持って現れておられると信じています。これを確信しています。我々はこれらの試練や問題やその他の事は分かりませんそして、あなたはどのように登って行かれることも全ての他の事も、3日目等。我々はそれを理解はしていません。しかしその中に居るのです、神のシンフォニーを聞いて、その一部なのです。そして次に何が起こるかを見るため医待っているのです、あなたに近く従っています。」素晴らしい。それが私のしたい事です。約束です。

85 どのようにして彼は始められましたか？初めに始められたのと同じようにです。彼は決して組織に彼のメッセージを送ったりはされませんでした。彼のグループにも送られませんでした。一人の人に送られたのです。ノアの時代に、それはノアでした。モーゼの時代には、それはモーゼでした。

ある時他の考えがありました、彼らは言いました、「あなたは自分自身を集まりの中で唯一聖いものとしている」神はそこを見ておられたのです。

モーゼは主の元に行きました、「私はこれはしました。何をしなければならぬのですか？」

彼は言われました、「彼らと離れなさい。私が他の事は世話する。私はあなたを送った。それは私の責任です」そして彼は地上を開かれて、カラーや全ての者を吸い込んだのです。常に！

86 ヨハネとイエス様は同じ時に居る事は出来なかったのです。ヨハネが見上げた時、彼は言いました、「私は衰え、彼は栄える」彼は光を立証したのです」さて、この光は彼が完全な証明が来るまで見つかるまで動かされるのです。その通りです。その通りなのです。

彼は、初めからそこに追われました、それがあなたが始める方法なのです、神が何であられたことを学ぶところから始めるのです。この地上におられた時彼は何をされましたか?どのような人生を送られたのでしたか?彼は妥協を許されましたか?彼は組織を作られましたか?彼はどのように彼自身を認識されましたか?「御言葉を調べなさい。あなたは、永遠の命を持っていると思っているならば、彼らは私の事を告げているのである」わかりますね。それは今日も他の時代も同じなのです。あなたが光が欲しい時、この時代のために聖句が何と言っているかを見るのです。大丈夫ですね。

87 さて、あなたはどこから始めましたか?ここに罪びとが居るならば、自分自身を証明する場所から来て十字架に行き彼とともに死ぬところから始めるのです。そこに入ることによって素晴らしいドラマに入ったことになるのです。あなたはそして聞くことになり、手にその楽譜(聖書)を持ってみてバンドの中でシンフォニーを見て聞いていることになり、あなたはその楽譜を得て、手に持ち、これらの事が告げている事をがその音楽が始まりそれを行動に移しそしてそれが行動されている事を見ることが出来るのです。神の御霊が人々にそして特定の事をするのを見る時、それがあつた場所を振り返るでしょう。もしそれが今日事ならばわかりますね。何故、彼らがイエス様が来られた時彼らの手の内にある神を持っていたのでしょうか、それは楽譜でシンフォニーの為なのです。間違いありません。彼らは持っていました。

シンフォニー、同情、正しく言っていましたか?そう望みます。さて、そして、それについて考えていたので。シンフォニー?(会衆のうちの誰かが「シンフォニー」と言う)シンフォニーその通りですか?大丈夫ですね。

88 さて、彼らの手の中に楽譜を持っていましたよね、しかし彼らは何を下のでしょうか?後ろを振り返って、既にもう演奏された場所を見てそのリズムを打ち続けていたのです。今日の教会がしているのがそれなのです。彼らhあ振り返って、ルターが演奏していた場所を見ているのです、それがルターはがやっている事です。彼らは音楽が変化したことを知らないのです。神が今日いやられている事を知らないのです、神がルターはにしたことの事。ペンテコステ派こう言います。「オー我々は分かっている」あなた方は50年前に楽譜を得て演奏しましたね。その通り。御言葉だけを手の内に持ち続けて、それが変わっているときにしっかり見て、我々がすることを知らずして。

さて、十字架において彼とともに始めるのです、「悔い改めて、イエスキリストの何よって、罪の許しのために洗礼を受けるのです、そうすれば、その音楽と方向性を受け取るでしょう」さて、「彼の御言葉と聖霊がその言葉をあらわしています」そしてその御言葉のリズムに従いましょう。その時にどのような音楽が奏でられたとしてもそれとともに奏でて行きましょう。

89 多くの人々は「何故?」と尋ねます。彼らは誰かが私に「何故?何故これらの事は起こらなければならないのですか?これが私の起こらなければならないの?何故私が始めたならこれが起こって、ここでこのような問題があつて、ここで私をいらだたせるの、そしてこれをここで失くしたの?」

時々、私は尋ねます、「何故?」どうして私が若いミニスターだった時、はじめた時、神は私の妻と赤ちゃんを私から取られたの、心から?どうして彼はそれをされたのだろうか?その時は分かりませんでした。今は分かります。私の手を彼に握ってもらい信頼し続ける事。

彼はすべての交差点をご存じです。彼はそれが起こらなければならぬリズムをご存じです。彼はそれをどのように動かすかをご存じです、彼はどのようなものを使われるかをご存じです。ある時砂漠の後ろ側には、神が義人を創られて賢人や預言者にされるのです。それが人々が打たれる場所なのです。人々は御言葉のうちに打ち砕かれるのです。彼らがすべての種類の信条やそういったものを得た時、彼らは御言葉に来させて大なるシンフォニーとして神の御言葉とともに創られるのです。そしてその時、彼らは御言葉に移っていくのです。

90 神はそのリズムが変わらなければならなかったことをご存じです。彼はどのようにリズムが来るかを知っておられます。私は知りませんが、主はご存じです。彼はどのようになるかをご存じですが、私は知りません。しかしここを見てください。私は、「それはちょうど来ている」と言います。

「正しい者には災いが多い、しかし神はそのすべてから救い出される」と神は歴史を通して、神の御言葉の約束のリズムとともに動かされてきたのです、同じリズムが御言葉を作り上げているのです。それが神が歴史を通して動かされてきた方法です、それは創世記から黙示録に至るまでそうなのです。神は御言葉とともに歴史を通して動かされてきました。その通りです、聖霊の力のリズム、神が選ばれた者達に指定し立証してきたリズムとともになのです。覚えておいてください、神は教会の外では何も触ることはできません。それは

み。その通りです!ただ覚えておいてください、神の恵みはあなたに与えられているのです。なんという事!

95 パウロが言ったように(ハレルヤ!)彼にはとげがあったのです、何かは彼の邪魔をしていました。悪魔が、打撃をし次から次へと打ったのです。そして彼は主と3回相談して、それを取り去るように主に頼んだのでした、言いました、「これは欲しくないです。主よ、如何か私から取り去って下さい」と

そしてある夜、主が彼に語ったのです、サウロあるいは「パウロ私の恵みは十分である」と

彼は「そして私が弱いところに栄光が表れる。私がある中に栄光が顕されるから。あなたが癒し主であることを知っているのです。私はあなたが病人を癒されたのを見ました、死人をよみがえらせ、悪鬼を追い出し、目の見えない人の目を開かれました。しかしあなたに相談したら、あなたはあなたの恵みは十分だと言われました、この悪魔は貴方の恵みに対して成長痛のようにしてじゃまあするのです。そして私の弱さに栄光が表れるのですか?ただ十分な啓示が私を引き上げてくれたのでした。

96 分かりますね、彼はほかのでしたない物を持っていました、彼は彼の死の後に主に会いました、埋葬、復活そして昇天を見たのです。彼は彼を見ました。彼らの数人は言いました、「さて、私は彼とともに歩んだ」さて、皆が通りに居たのです。しかし彼が死んで埋葬され、復活し昇天していき、火の柱の形で戻って来たのです、彼はパウロに話しかけました。それは彼らの残りの他の人が持っていたものよりも多かったのです。アーメン。

彼は言いました、「私が引き上げられ、他の物として大きな修道院やら他の物全てを建てたいとかよりもこの沢山の啓示の上に引き上げられるしかないのです、神は悪魔のメッセンジャーに引き続き私を打たせている。彼は言いました、「そして私が弱い時にこそ私は強い」アーメン。アーメン。恵みのための成長痛!アーメン。我々は長い時間居られたので既に一時間45分すぎましたそして、我々は神の恵みの痛みを苦しんでいるのです。(喜んで)

97 オー、彼は人生の岐路を通ることを許されるでしょう。そのことによって私達を試して神に仕えるために我々を整えて下さるのです。彼は今も許されているのです、教会でもここでもまたテープでも。彼は我々の礼拝のためにも岐路を許されるかもしれません。

彼はちょうどダニエルのように。ダニエルにも小さな試練を与えられました。ご存じのように彼は、バビロンでは偉大な人だったのです。彼も試練がありました。彼は王様に彼に敵対させライオンの洞穴に投げ入れさせました。それはダニエルを整えるためだけでした。その通りだったのです。

ヘブライ人の子供たちを火の燃える炉の中に行かせました。彼らは神の御言葉にしっかり立つことを心から決めていたのです。

彼は御言葉を信じるゆえに人々に笑われたりあなた方をホーリーローラーなどのようなことを言われる事を許されるかもしれません。彼らはあなた方を笑うのかもしれませんが、それは大丈夫です。それは岐路であり、小さな交差点のようなものです。それは何かを証明しているのです。

分かりますね、御言葉の上にヘブライ人の子供達が立つことがその岐路を超える唯一の事で、それは唯一彼らの足と脚の周りのバンドが緩められたような状態なのです。

98 我々の周りにある世的なものに縛られた状態を破るには時々辛い試練しかありません。時々、神は我々に小さな試練を通させるのです、世的なものをあなた方から取り去るためにどうするかをご覧になるためです。他の言い方をすると、小さな試練によって組織をあなた方から追い出し、「メソジストだけが、バプテストだけが、あるいはペンテコステ派だけがあるいはなんでも唯一のグループである」というような考え方を追い出すこと。たとえ部、もしあなたが私の教会のように信じていないなら全く信じていない」時々、神は小さな試練を起こさせるのです。多分子供が病気になったこともあったでしょう。多分、何か死にかけたこともあるでしょう。多分誰かがあなたから何かを奪ったとか。それがどうしたのでしょうか?自分自身が砕かれることによって目が開かれて何かが見えるようになるのです。多分批判的になることとか。多分このテープをただ批判するためだけに聞いているかもしれません。多分神があなたをがんじがらめにしている世的な考え方から壊して下さるかもしれません。

川の中でおぼれかけている人の世に、川からその人を引き上げないといけません。その通りなのです。まず、川から引き上げる必要があります、そしてそこから彼の中に入った川を取り出すのです。時々、神様はそのような方法をされなければならないのです。彼はその交差点を通らせ、岐路につかせるのです。神の約

東に立ちましょう、御言葉に、それは敗れる事はありません。将来を主の手に置くのです。彼らがしていたように、諦めないでください。

99 アブラハムが彼の岐路にあったとき、神が彼の息子を死から引き上げて下さることが出来るを知っていました。アブラハムは彼の岐路まで来ていました。そしてそのあと、彼は神のすべての奇跡を見る事に信頼していました。25年間息子が約束の子が生まれるのを待っていました、そして神が彼が待っていた正にそのものを犠牲に捧げるように言われたのです。なんという事。なんという試練でしょう!しかしアブラハムは文句を言いましたか?ローマ人への手紙4章にあります。「彼は完全に信頼していた」アーメン。彼は神の約束に完全に信じて義と求められた、神には出来ると言う事。アーメン。神は岐路を通らせたのです。彼はアブラハムを通して我々に見せて下さったのです、彼は死人をよみがえらせることが出来るようになることを。

アブラハムは言いました、「いわばイサクを生き返らせて返された」サラの胎はもう死んでいました、そして彼の体も死んでいました、彼は老人だったのです。彼女には赤ちゃんを養うための乳腺もありませんでした。そして彼らは、、、何も無かったのです。彼自身も不妊で彼女も不妊だったのですわかりますね。そこで何も方法は無いように見えました。赤ちゃんが来ると言った同じ神のために私は立ちそれが来るのを見る、彼は死人を蘇られることが出来る方です。つまり彼はその子を死から救いえるのです。彼がなんでもについて決められるのです。アーメン。

100 神こそが我々が起こっているのを見ているこれらの事が終わりの時に起こるという約束をされた方なのです!もし彼が息子を約束されてきたならば、これらの事が聖句を通して我々が見ると約束されてそれはなされたのです、だからそのリズムに入っていないではありませんか。彼は終わりの時にこれらの事が起こると約束されましたそして我々はそれを見えています。神はイエスを送ると約束されたのです。ハレルヤ!至福千年は来るのです!新しい日も来るのです!太陽が降らなくなる日も来るのです。我々はそれを必要としなくなるのです、我々が行くその町の光は子羊のためだからなのです。アーメン。

新しい日の夜明けを全身で感じています。新しい日の光!夜も闇も影も空も暗い空も真夜中も墓も丘の上の花も葬式も医者も死亡安置所も無くなるのです。。。アーメン。私の魂に神の光の光線を感じられたのです。新しい日!古いものは過ぎ去ったのです。

死すべき血が私の体を通して注がれているように感じています、私は聖霊の波を感じたのです、そして「起きよ、光を放て」

101 何かがこう言ったのです、「ビリーブラナム、あなたは年をとって来た、弱くなって来た、方が落ちてきている、髪の毛も白くなり落ちてきている」その通りです。そして見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう!

「起きて、光を放て」私はイエスキリストの福音の素晴らしい光の波が降ってきて私を彼において新しく創られた者として下さるのを感じています。その日を待っているのです、アーメン新しいのために。私は将来を知りません。1964年に何が起こるか私に又他のなんでもわかりませんが、私はしっかりと永遠に彼の手を握っているのです、彼が永遠の方だからです。アーメン。

アブラハムは神が再びよみがえらせることが出来る事を知っていたので、彼は神に信頼していました。

102 さて、新年に当たり、神の御言葉とその約束にしがみつくと決意をし、他の時代の他の選民と同じように生きると決めました。もしあなたの上に光が下りてきたと感じているならば、イエスキリストがこの終わりの時代において彼の偉大なる聖霊の表れが来ているのです。そして覚えておいてください、それを持ち続け、彼が明日事、あなたは選ばれた者の一人です、そしてほかの時代に選ばれたものと同じようなのです、例えばアブラハムのように、彼がそれを見た時、それは科学的証明のすべてに反していました。ノアもそれを見ましたそれはすべての科学的証明と反していたのです。モーゼも見ました、それも科学的証明とは反していたのです。彼らの賢明な時代は過ぎ去りましたが、選ばれた者達はしっかりと立ってそれを見えていたのです。アーメン。

103 そして将来の為に、しっかりとその約束の上に立ちましょう。神がそれを創られたので、それは神が見届けられるのです。ただそのリズムに従うだけです。その時にリズムがたたかれて、「これがウィリアムブラナムの地上での最後打と・というのです、そして私はそのリズムとともに行くでしょう。そしてまたそのリズムとともによみがえるのです。ハレルヤ!それを打つもの、うちだし又、打つのです。それは神のリズムです。「私は終わりの時に彼を引き上げるであろう。私を信じるものは永遠の命を持つ。彼は私の言葉を聞いて私を信じた方を信じる者は永遠の命をもchい、さばきに会うことは無いが、死から生に移される。」私は御言葉のリズム

に従っていきます。アーメン。私の心音ではなく、御言葉の響きです!それがなんであろうと関係ないのです、もし私の心が御言葉とともに打っていないならば、私の心は間違っているのです、アーメン。彼は御言葉だからです。アーメン。聖書がそう言っています。神の御言葉なのです。

104 ここにビリーと私が暫く前に上がってくる時にあるプログラムを聞いていました。そしてそれはこの聖書、、、その時代には預言、、、その時代の。。。それは何と呼ばれましたか?時々預言について。預言の声。本当にそれはセブンスデーアドベンチストでした。彼らは4か5の異なる名前を持っていました。ミラーの人々それが彼らが始めた時の名前です。

彼らがミーティングの中でこう言いました、私はイエスキリストになることについて話していました、聖霊である父が私を覆っていました、火の柱、そして私はイエスキリストでした。丁度私の友人が彼らの小さな会合に居て立っていて、彼は立ち上がりこう言いました、「あなたはそれを証明しなければならない、というのはここに彼を呼ぶから。一度でも彼がそのような事を告白したかどうか見てみたい」わかりますね、そしてそのような事をするのです。彼は異なるカルトやそういった地上でのことを話していたのでした。

彼らは知っています。一度、私は、この安息日に関する質問と結びつけていました。彼らは過去のそれを通していました。聖霊こそが我々の安息なのです、聖書にはこのように書かれています、「重荷を負って苦勞しているものは私の元に来なさい、あなたの魂に安息をあげよう」それは「日」ではないのです。パウロは言いました、「残念だが、あなた方は一日だけをそのようにしている」わかりますね。その通りなのです。はい。ヘブル書の4章にあります、「休息に入りなさい」「神の人々は休息を保つのです。我々は神の休息に入るので、神が下さったことで我々自身の技から離れ続けていると言う事なのです。

105 しかし、彼らのスピーカーが暫く前に、良いプログラムがありました、敵対をしているわけではありません。私は、彼らを助けられるならば何でもします。それを言う事を完全に許してください、何故ならば、彼らは何も正しい事を言わなかったからです。それは事実です。彼らの教義はちょうど、エホバの証人や、クリスチャンサイエンスと同じようなもので、全てこれらの他のカルトと同じものなのです。しかし気が付いて下さい、彼らはちょうど他の組織と同様で、それ以上何間違っていないのです、つまり他の残りも同様です。御言葉は常に正しいのです、それ自身が正しい事を証明します。気が付いてください。

しかし、彼が話していたように、その人は言いました、「我々はその年の本の賞を取った」この作家が、彼の名前出、それについて話していますか?私は今彼の名前をちゃんと憶えられません。彼はここシアトルのクリスチャンビジネスマンのために、ワールドフェアで暫く前に話したのです。そして、彼が言ったのは、このアナウンサーはこう言いました。「この人はこの年の最も優れた本を書きました」私は同意しません。

106 今年の本は、聖書なのです!それは世の光です。それは神ご自身なのです。我々のためのその年の本こそは聖書なのです。今年1964年においても、我々の本は聖書なのです。そしてこれからくる年もずっと、我々の本は聖書です。過去のすべてにおいても、その年の本は、これからくる年についても、永遠の本が聖書なのです。それは神がそれであることを明らかにしています。聖書が神を顕かにするのです。毎年、その年の本は聖書なのです。どこでもあなたが聖書について聞くならば、それが立証され、永遠が来ることを約束している事が記されているのです。聖書が、我々にこの約束をくれるのです、聖書がイエス様がいつ来るかという将来の事を話しているのを聞くことで分かるのです。そして私が今日、今言ったように、

そろそろ閉めなければならないようです、もう2時間ここに居ますから、このあたりで。

107 見てください、もし、聖書がこれらの事が来るだろうと言う事を全てのこれらの時代について、我々がもうすでに過ぎたことも告げているのであれば、、、ノアの時代は先見されていました。全てのこれらの他の時代も、聖句が預言していました。マルチンルターーの時代についても、ウェズリーに関して、ペンテコステ派の時代に関してもなのです。我々が今生きているこの時代についても預言されていました。

全てその通りに起こったのです。そして、何時、それは何なのですか?それは神の語られた言葉で、神ご自身が立証され、その時代の光とされたのです。わかりますね、ちょうど太陽のようにデス。御言葉自身がその時代に属するように立証されたならそれが光なのです。わかりますね、それなその時代の光として指定されていたのです。

108 ヨハネは光だったのです....彼はエリヤ以上に光を持っていたのです。エリヤ、彼はエリヤの光ではありませんでしたが、彼はエリヤが別の形になって立証された光だったのですね。彼は...そして、イエス様が来られた時、彼は言いました、「彼はその季節のための光輝く光だった。彼の光の中を歩くのを大好きである」とね。

そしてヨハネは言いました。「さて、私は今、光を落とさなければならない、私は今行かなければならない、私の光の輝きは終わった。私は去らなければならない。彼が栄えなければならない。彼こそが光である」と

主は言われました。「私は世の光である」とアーメン。その通りです。「昨日も今日もいつまでも変わることなく」そして彼は今も世の光なのです。彼は何ですか?「言葉が初めに会った、言葉は神とともにあった。」何故彼は世の光だったのですか?もし彼が来て、彼が救い主だと言ったら、そして彼が聖書が救い主がすると言う事をしなったら、彼は世の光ではありませんでした。分かりますね。それは立証された、御言葉でそれが主を世の光とされたわけなのです。

109 そしてこの時代、今我々が生きているこの時代においてのこの時代の指定された御言葉!ペンテコステ派の人たちは、「異言を語る」等と言います。それはペンテコステ派の時代の事でした、それはその時代の光だったのです。さて、これは別の時代です。今日の時代の光があるのです。

110 7つ目の教会時代、全てキリストを外の追いやり窒息させています。月がすべてのこの暗闇の中で認識しているのです。その光が今前に出始めていて、物事が起こっています。それらの事は間もなく破壊されるでしょう、光が出てきて、それを破壊するのです。そしてその聖徒たちが地を受け継ぐようになるのです、柔和なものが地を受け継ぐのです。地、その月は暗くなり、取り去られるのです。世の闇は消え去り、闇は彼らの死と信条そして御言葉から離れる事、彼らの言っている、変態的な事はなくなるのです。そしてその光がその日に光を放つようになるのです。

111 そして覚えておいてください、聖書全体で、今閉められようとするとき、しっかり聞いてください。この全聖書がは、全てしっかりと立証されて、そして永遠のシャローム、永遠の平安になるのですね。

彼は来て、そして言いました、「地の上では、御心にかなう者に平和があるように」としかし、世はそれを受け入れませんでした、分かりますね。彼はすべての人、平安のために彼の元に来るものにとっての平安なのです。地の上では御心にかなう者に平和があるように、彼は新しい年の初めに、神の新しい日にとっての平和なのです。何のために?彼はその時代の指定され立証された光だったのです。

そしてもっと指定された御言葉があります。彼はもっと御言葉を指定しなければなりません。そして終わりの言葉が指定された時、ある意味、立証された時、死は勝利の中に飲み込まれたのです、キリストにあって、死んだ者たちがよみがえり、至福千年が始まります、それは素晴らしい平和になるでしょう、シャローム。その日のために主の内に休みましょう、兄弟、姉妹、我々の偉大なシャローム。

覚えておいてください、聖書は、知恵の泉なのです、全ての将来のための希望があります。教会の皆さんへ、シャローム!祈りましょう。

112 小さなグループがここにあらわされています、私は2時間この小さな新年のためのメッセージを語りました。あなたがはとても忍耐があります。今朝、あるいはこの午後、一人でも、語られた平安が無い方がいますか、御言葉の中で認識される者、あなたと御言葉一つになるとき。。。?

その時、聖書では一つの事が勝たれています、あなたは、「いいえ、それが正しいと信じる事はかなり難しいです」と言うでしょうそして、あなたには平安(シャローム)がありません。あなたは神とともにある平安の中にはいないのです、彼の御言葉が言っている一つの事にあなたが合意していないからです。

そして、もし御言葉が、「シャローム、平安」と言うならば、そしてあなたがその平安を持つならば、それは神が言われたすべての言葉を持ち、それと一緒に、「アーメン」と一つ一つに言う事が出来て、それを信じていると言う事なのです。そして、あなたがそれを立証してわかるとき、あなたは、「アーメン」と言うのです、それは御言葉なのです!しかし、信条、光、偽の光、世が光の影を、反射させて、暗くしているのです、いくつかの信条は、「いいえ、私はそれは別の事のためだと思います。その意味は、ただそうじゃないのです」そして御言葉はそれを言っているのですか?その影に従うのですかそれとも、本物の光とともにあらわれていますか?

113 ここで、または、テープでも、誰でもそれを聞かなければ、もう一度暫く考えてみてください。そして、もし、一人でも、その光を持っていないならば、あなたがそれを認識しているならば、そして今日その光の中を歩く準備があるならば、手を挙げてください。そしてもし、このテープが行くどこでも、まだそれを持っていないならば、あなたの手を、何処でも神に向かってあげてください?あなたのテープレコーダーを消して、暫くの間、私たちは、祈ります、跪いて、言うのです、「主なる神様、私は疑っていましたが、このような事もしました、そのように考えてもいました、「さて、その教会が、物事は出来ないと断っていたからで、これはそうではないと教えて

いたからでした。しかし、今その約束を聖書の中で見ました、そしてあまりにも多くの事を見ました。天国さえもそれ自身を宣言したのです。そして、これらの事は言われていて、その通りに起こっているのです。そして天におられる神は同じことを宣言しています。そしてそれを今受け入れたいのです。神の言葉が私の中に入るようにしましょう。そして、そのリズムに入りましょう、その教会の牧師が言っている事を聞くのではなく、御言葉のリズムに私が入れますように、何と言っているかを見て行きましょう。そしてそれに私を連れて行きましょう、この偉大なるシンフォニーに、神のシンフォニー、彼の御心のリズムが私の人生の中で打たれますように。

114 天のお父様、あなたの元にすべての手が何処でも挙げられています。そして、神の聖霊が御言葉のリズムによって聖霊がそして真理のリズムがもたらされ、彼らが今神の息子娘として作り替えられ、地上に彼らが神の光を輝かすようになるのです。彼らが御言葉を表し、イエス様が生きたように、その男性や女性が生きるのです、神の御言葉のすべてを信じ、彼がしたすべてのように、彼が言われたように、「人はパンによってのみ生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きるのである」少しだけの言葉だけでなく、その言葉の一部だけでなく、神の口から出る全ての言葉によって。

モーゼの時代の言葉は、イエスの時代にはうまくいきませんでした。死との時代の言葉はこの時代にはうまくいきませんでした。それはこの時代のための約束だったのです。彼らは彼ら自身に行ったのです、それは聖霊によって終わりの時に起こることが語られていました、教会が頭が固くなり、誇り高くなり、淫婦が上がってきて、彼女とともにいるようになる、世がどれほど暗くなるかなど。そして最後の教会時代である、ラオデキアの時代に、イエス様は完全に教会から追い出されてしまうのです。

オー主よ、あなたとともに居させてください。御言葉と、そして主よ、この新しい年において、決意をもって、彼の光を我々全員を通して輝かせますように。今年何が起こるかはわかりませんが、我々は主の御言葉をしっかり持っているのです、初めから最後までシンフォニー全体を知っています。彼はすべての動きと全ての分岐点を知っています。そして主よ、私たちはただ彼を見ているのです、我々の目を彼の上に、御言葉に留め続けましょう。そして、我々がこれらの事が起こるのを見る時、我々は御言葉のリズムに居る事を知ります。与えてください。全ての失われた魂を救ってください、主よ、ここで、そのテープを聞いているすべての人たちを救ってください。彼らをあなたの手に委ねます、御国のために、イエスキリストの名前によって、アーメン。

115 さて、今朝皆さんと一緒に居られて幸せです。だから、初めからちょうど2時間、1045分から、12時45分まで。メダに言いました。「1時半までに帰る」とさて、スピード違反をすることは信じています。そんなことをすることを考えてはいけませんよね。さて、感謝します。今私が良いタイのは、..

テリーが彼のテープレコーダーを消しましたと言うのは、一つのテープが終わったからでした。思うに、あなたはまだ続けていますね、それは大丈夫ですと言うのは、その教会でも話す心算だからです。

ここに居る皆さん全員に間違いなく感謝しています。そして多くの時に、私はこれは小さなリトリートだったのですここに來ること砂漠の後ろ側と呼ばれるところにです。砂漠をと打って戻ってきて、ここに戻って、いまわす事そしてこの小さなグループは木の下にあり、川の隣でもあります。そして我々は、川の東側に居ます。そして、神が皆さんを祝福して下さることを信頼しています。神様、平安(シャローム)が皆さんとともにありま性に。それこそが神の平安なのです。

116 そして、本当にこのように長くあなた方をとどめてごめんなさい。でもこのテープを今得るだけでいいです。もし書の御心ならばこれを日曜の午後フェニックスで語ります。そして月曜日、短い会合などをする予定です。今年のために私の心の目的を整え、御心ならば、端から端まで、きられるかもしれません。分かりますね？

そして我々は皆w勝っています、それは認証なのです。私たちは、3つ目の引きが何か分かっていきます。我々は全員それを悟っています。さて、あなた方が分かっているならば、そのテープを得る事になりますね？そしてそれによって暫くの間、大きな迫害の時が来るまでしばらくの間、休める事になると思います。その時は来るのです。それは語ります。それはちょうど問題なく完璧に5つの印があらわされたようになるのです。そして今、思うに、ちょっと待ってくださいね。何がなされたかを見る時。さて、私は再び同じように戻るので、見出すために端から端まで。

短い集会。それを毎晩集まるように努めるつもりです。30分くらいで神の癒しについてあるいはほかの事について話します。そして、またいつでもテープが準備出来たら、ここ砂漠の後ろ側に降りて来るか、何処

でもあなた方がテープを作ることg会出来る場所に、幕屋か何処かへ我々自身の間の場所に行きます。私のしたい事をそのように言う事が出来ます。しかし、分かりますね。イエス様...

117 覚えておいてくださいね。私は気を付けてみていなければなりません。私の人々が、完全に偉そうな態度で歩き去るのを見る時、今朝そのことを表現しようと思います。彼等に闇が覆っているのです。それをなんかすることは出来ないのです。彼らが聞いていない事許してください。そして、神がされたことを見てください、彼らがそれをしなくなるまで。今も祈るのです、「神様彼らを許してくださいそして、それは私の心からの祈りを意味しているのです。主人がそういうから言うと言うことは言わないでください、しかし自分お心が初めに感じたいから、それは本当に覆っているからなのです。

私は人々から離れたくありません。そんなことはしたくないのです。分かりますね?というのは、私は彼らのためのメッセージを持っているのです、「救い」。彼等の中に出て行かなければいけません。分かりますね?さて、私は、三位一体信仰や、メソジスト、バプテスト、ルター派、ペンテコステ派、セブンスデーアドベンチストそしてほかの何処へでも、出掛けて行きます。というのは、失われている人たちを救うために、もしできるなら、彼らの光を見せるためにその人たちを探しに行くのです。

118 ここで我々の最初の小さなグループの集会を持ちました。あなた方が持たれたかどうかそのスケジュールがあったかはわかりません。もしあなた方の数人が、ここにそれを置いていくつもりです。牧師があなた方のためにそれを讀んでしよ、御心ならば次に何処で集会をするかについてです。それは御心になるのです。そのための導きはありませんただ、出て行って出来る事をなんでもするのです。そしてあなた方の愛する人たちが近くに居るならば、その集会に来て欲しいですから彼らに手紙を書いてこれらの集会に参加するように言ってください。

119 神の祝福がありますように。ストリッカー兄弟、姉妹そしてここに居る全ての皆さんにお会いできてうれしいです。さて、その何人かは、お名前さえ知りません。しかし、聖霊の証によってあなたの事を知っています、あなたは私の兄弟姉妹なのです。そして私の愛する方、そして皆さんを尊敬しています。ここで皆さんと一緒に居られたのは大いなる喜びです。

そしてどのようにしてここで夕食を共にして、小さなフェローシップ夕食をする予定なのを知っています。私も出来たら一緒に居たいです。そしてもっとよく知りたいのです。あなた方にこの国の中で最高の料理人が居ると知っています。それは正しい事も知っているのです。でも、私はハンバーガーを自分のために持っていかなければならないようです。しかしとにかく、私のしなければならない約束があります。時間が定められているのです、ここで少しあそこで少しと言うように。皆さんは全てご理解いただいていると確証しています。(会衆が「アーメン」と言う)それは私がここに居たくないというわけではないのです。神様はそのことをご存じです。ここに居ることは出来なかったこと。分かりますよね?

120 誰かが言いました、「あなたはそこに降りて行って、30人の人に話しますか、同じことを1万人の人に伝える事が出来る時に?」間違いなく。大きさには何の違ひももたらしません。私は受け入れられるところを見たいだけです。

「真珠を豚に投げてやるな。恐らく彼らはそれらを足で踏みつけ、向きなおってあなたがたにかみついてくるであろう。」わかりましょね?しかしそこにあなたの真珠を投げてはいけません。

そしてそう感じるのです、ここで私が話している事は、豚を真珠に投げてはいないのです。それは子供たちに彼らが持つべき宝石を見せているのです。分かりますよね?彼は道具のために何千回も泥や汚れの中で働くことになるでしょう。

あなた方はユリに気が付いたことがありますか、それはどこから来るのでしょうか?池のぐちゃぐちゃの穴の底から上がってきて咲くのです。それは昼も夜も、苦勞して光を得ようとするのです。しかし、光を得たら、花が咲くのです、そしてどこにもある最も美しい花が有るのです。それがユリなのです。それは地の中の泥や汚れから出て来るのです。

そこには宝石が見出されるのです、この国の金の国の中に含まれているのです。金を見つける場所も泥の中です。あなた方がルビーや宝石を見出す場所は、泥や汚れの中です。その通りなのです。そして我々皆がそこから来たのです、世の汚れと泥の中から。しかしこれは...

121 私は金鉱を探すものなのです。彼等は何をするのですか?彼らは金を探すのです。そして、見つけた時、彼はそれを磨くのです。たたいたり、溶かしたりして、準備するのです。

ここに居る人たちは、金鉱なのです。分かりますよね？ここをずっと見ているのです、美しい宝石のためにです。分かりますか？ここで見つけて、泥を取り、彼らを磨き上げるのです。そして、「主よ、彼らはここに居ます。ここに兄弟が居ます。生まれ変わったクリスチャンです。ここに素晴らしい若い女性が居ます。又素晴らしい中年の女性、老女、若い人、何であれ。彼らは、ここに居るのです、主よ。彼等はあなたの宝石です。あなたの冠を彼らにかぶらせて下さい、主よ。彼等は永遠にそのように輝き続けるでしょう。あなたにまた会う日まで、シャローム。神の平安が穴型とともにありますように。

分かりました。牧師さん、ここに来てください。大丈夫です。神の祝福が今ありますように。そして、暫くしたらまた皆さん全員に会うことになるでしょう。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7